

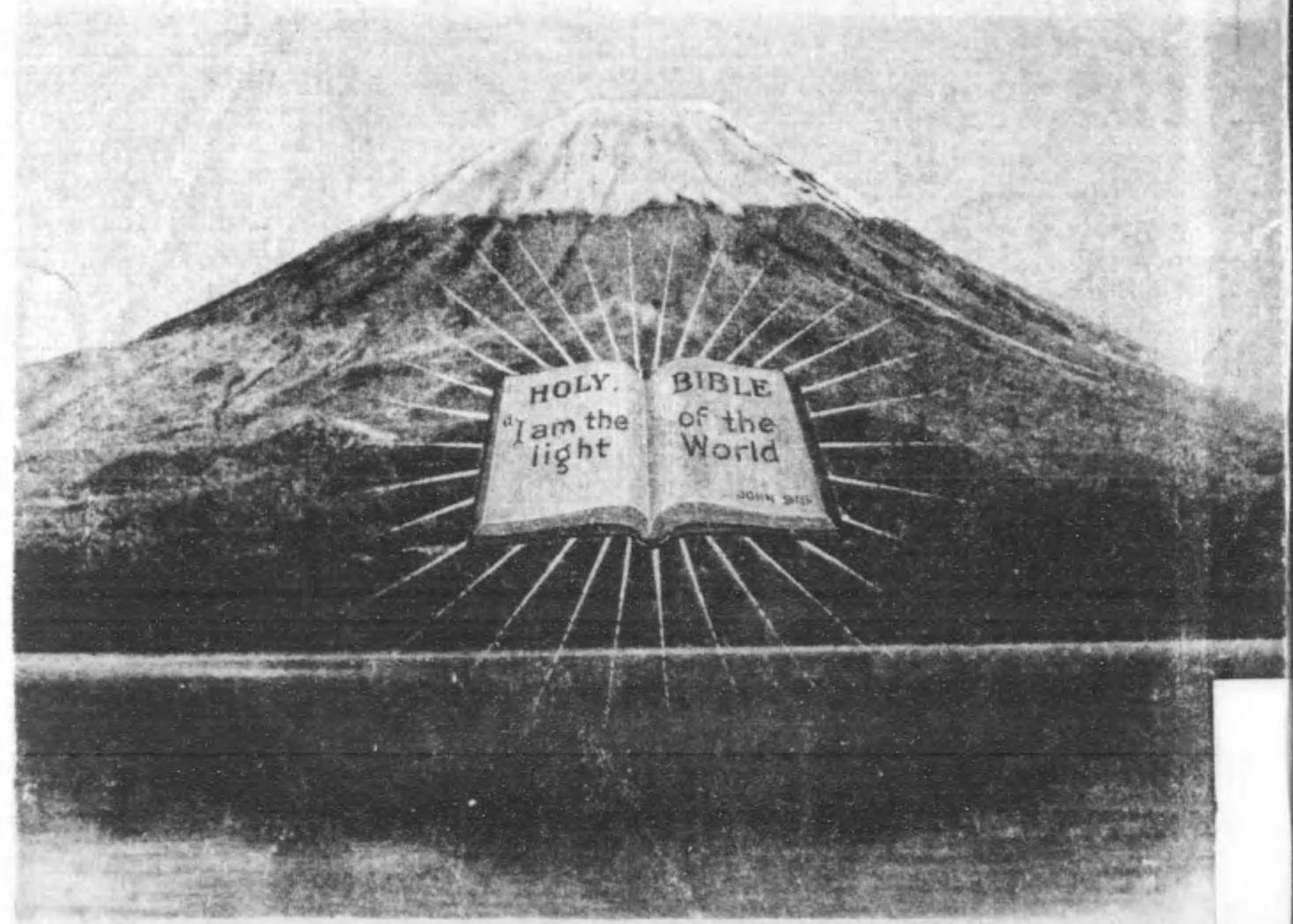
324

第八回

628

世界日曜學大校會

日本東京



自一千九百二十一年十月四日

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

始



324-628

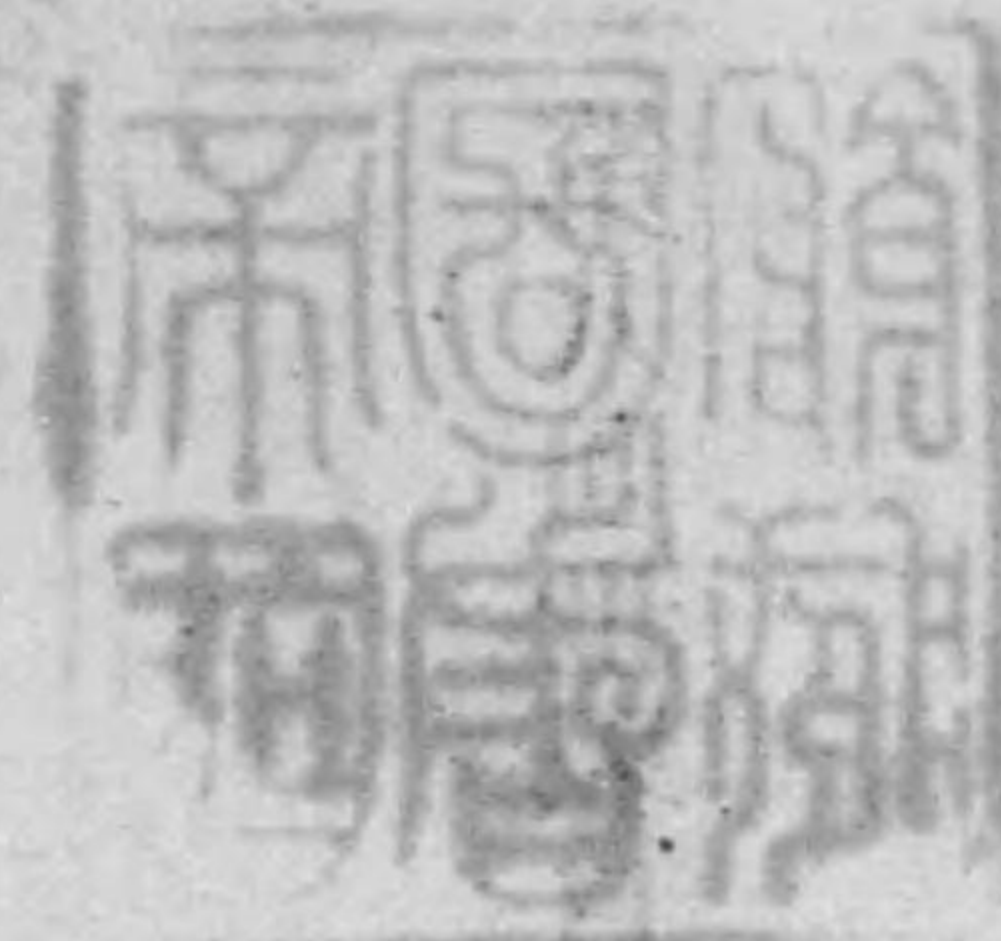


第八回世界日報學校大會執行順序

於日本東京市
自一九二〇年十月五日
至一九二〇年十月十四日

大正
9.10.11
内交

日本新聞社
東京
青島
濟南
煙台
濰縣
龍口
威海衛
石家莊
保定
張家口
歸綏
包頭
西安
蘭州
西寧
成都
重慶
昆明
貴陽
梧州
柳州
南寧
海口
香港
廣州
汕頭
廈門
福州
寧波
上海
天津
北京
漢口
長沙
衡陽
南昌
九江
蕪湖
安慶
蚌埠
徐州
鄭州
開封
洛陽
西安
蘭州
西寧
成都
重慶
昆明
貴陽
梧州
柳州
南寧
海口
香港
廣州
汕頭
廈門
福州
寧波
上海
天津
北京
漢口
長沙
衡陽
南昌
九江
蕪湖
安慶
蚌埠
徐州
鄭州
開封
洛陽



中央會場
分科會場

麴町區丸ノ内大會々場

靈南坂教會(赤坂區)

青年會館(神田區)

三崎會館(神田區)

メソヂスト中央會堂(本郷區)

銀座メソヂスト教會(京橋區)

救世軍本營(神田區)

帝國ホテル(麴町區)



世界日曜學校協會役員

會長

國會議員

トマス、アル、フエレンス氏

實行委員長

ジョン、リナメーカー氏

副會長

セームス、ダブリエー、キンニヤー氏

總幹事

ケレー、ホナー氏

同上

法學博士

フランク、エル、アラオン氏

總會計

トマス、アル、フエレンス氏

同上

アサー、エム、ハリス氏

音樂主任

教授

エチ、オガスチン、スミス氏

同副主任

エチ、オガスチン、スミス夫人



日本協力諸委員

世界日曜學校大會後援會

會長	侯爵 大隈重信氏
副會長	子爵 澁澤榮一氏
同上	男爵 阪谷芳郎氏
同上	男爵 田尻稻次郎氏
同上	東京市長子爵 田尻稻次郎氏
同上	東京尚業會議所會頭 藤山雷太氏
常務委員長	男爵 阪谷芳郎氏
名譽幹事	木下淑夫氏
常務委員	服部文四郎氏 猪股忠次氏 生野團六氏
	種田虎雄氏 中川正左氏 内田嘉吉氏
	井阪孝氏 淺野良三氏 阪井德太郎氏
	林愛作氏 清水釘吉氏 伊藤米治郎氏
	龍居頼三氏 川澄明敏氏 永井環氏

世界日曜學校大會日本委員

總委員長	江原素六氏
副委員長	井深梶之助氏
同	長尾中平氏
同	アール、デ、マッコイ氏
同	ウイリアム、アキスリンク氏
總務部	部長 川澄明敏氏 主事 村上正次氏
	庶務係 岡本執氏 文書係 逢阪元吉郎氏
	通譯係 齋藤惣一氏 編輯係 野邊地三右衛門氏
會計部	部長 阪井德太郎氏 主事 荒川哲次郎氏
會館建築部	部長 清水釘吉氏 主事 古橋柳太郎氏
會場部	部長 山本邦之助氏 主事 松野菊太郎氏
	報告係 ベンニングホフ氏 集會係 小崎道雄氏
	衛生係 高田耕安氏

接待部

部長 鶴 飼 猛氏 主事 岡崎 義孝氏

案内係 吉田 悦藏氏 宿泊係 田山 又之助氏

食事係 嶺 辰三郎氏 交通係 菅 儀一氏

展覧部

部長 エチ、イ、ヨールマン氏 主事 三月吉太郎氏

展覧係 イ、エチ、ゾーク氏 講演係 牧野 虎次氏

古美術品蒐集係 山鹿旗之進氏 ヘーシエント係 プライヤント氏

巡回講演部

部長 山本 忠興氏 主事 エー、オルトマン氏

事務主任 吉田 丈簡氏

音楽部

部長 アイケルハート氏 主事 岩村 清四郎氏

プログラム委員

委員長 井深 梶之助氏

委員 小崎 弘道氏 海老名 弾正氏

鶴 飼 猛氏 植村 正久氏 長尾 牛平氏

山室 軍平氏 アル、マツコイ氏 ライフスタイダー氏

宮川 經輝氏 ダンロツプ氏

募金委員長

日 正 信亮氏

米 國 諸 委 員

東京大會プログラム委員

會長 ゼームス、ダブリュー、キンニヤー氏

幹事 フランク、エル、ブラオン博士

委員 シヨン、エル、アレキサンダー氏

ダブリュー、ピ、アンダーソン博士

モード、ジュンキン、バルドウィン夫人

エノツク、エフ、ベル氏

ダブリュー、イ、チャマース博士

エー、イー、カリィ博士

フラシク、エム、ノース博士

ヘンリー、ダブリュー、ビーボデー夫人

イ、エチ、ローリングス博士

フラング、ケ、サンダース博士

ワイリヤム、イ、ランズ博士

ダブリュー、ジ、ランアイス氏

エム、エス、リットルフィールド博士

アル、イ、マギル氏

ヘンリー、エチ、マイヤー博士

アル、エド、ン氏

シヨン、テ、フェリス博士

アル、ド格拉斯、フレザー博士

シヨン、エフ、ガウチャー博士

シドニー、エル、ギョリック博士

ロバート、イ、スピート博士
 アイザック、エム、ハリス氏
 エフ、ジ、スチアソン氏
 エル、オ、ハルトマン博士
 エス、アール、テロル博士
 ゼ、シ、ハルツェル監督
 フロイド、ダブリエー、トムキンス氏
 メリオン、ローランズ氏
 ジョーシ、エチ、トラル氏
 ハリー、ウエード、ヒツダス氏
 ジョーン、リナメーカト閣下
 エ、テ、ホロイド監督
 ジョーシ、テ、ウエツア博士
 エス、エム、ツイマー博士
 フレツド、エ、ウエーラス氏

プログラム特別委員

音楽及ベジエント係

會長 ダブリエー、ジ、ランデイス氏

講演及活動寫眞係

會長 サムエル、テ、アライス博士

展覽會係

會長 アワン、スーザーランド氏

米

委員

シ、アル、ブラクコオール博士
 エム、エス、リットルフィールド博士
 ハリー、ウイ、マイヤー氏
 エチ、ジ、シンブソン氏
 ヘンリー、エフ、コープ博士
 ウィリヤム、ウオター、スミス博士
 チャーレス、エル、フライ博士
 アサー、エフ、スチアソン氏
 ケーリー、ホーナー氏

東京大會交通係

會長 セームス、ダブリエー、キンニヤ氏

委員 ジョーシ、イ、ホール氏

ダブリエー、ジ、ランデイス氏
 エフ、ジ、スチアソン氏

備考

一、會議ノ開カル、各出所ニ就テハ、東京準備委員(青色徽章佩用)ニヨリテ準備セ
 ラレタル案内者ニ問ハルベシ、此等ノ場所ハ中央議場ヨリ程遠カラザルベシ

- 二、諸實行、響應等ノ計畫ニシテ本順序書ニナキ者又ハ變更セラレタル者ハ、毎日議員ニ配付サル、大會告知書ニ於テスベキカ、又ハ報告係ヨリ聴取セラレタシ
- 三、大會展覽會及ビ毎日ノ講演ニ特ニ注意セラレタシ、此等ハ幻燈又ハ活動寫眞ヲ以テ各國ノ日曜學校事業ヲ説明スルモノニテ、場所ハ神田青年會館ニテ行ハルベシ
- 此講演ハ毎日各種ノモノヲ提供スルヲ以テ、毎日通告表ニヨリテ公告セラルベシ
- 四、毎日ノ祈禱會ハ大會ノ諸計畫ト全連絡ヲ取ルタメニ、ハーバート・ウエルチ監督ヲ指導者トシテ朝ノ祈禱會ノ獎勵ヲ委托セリ
- 五、特別招待會、會食、親睦會等ハ大會中行ハルベシ、但シ其詳細ハ本順序書作製ノ時マデ決定スルヲ得ザリシヲ以テ、今後毎日ノ通告書ニヨリテ之ヲ承知セラレタシ

東京大會に就て

— 進歩の畫策 —

第八回世界大會のプログラムに於ける目的は、基督教々育ハ日曜學校に由りて新世界の生命たらしめんとし、且つ個人、社會、國民、及び全世界の品性養成の一勢力たらしめんとするにあり。

大會の一般的議題は『日曜學校と世界の進歩』である。其毎日の正題は、次頁に掲ぐる所であるが、之に由て知らるゝ如く、各議題は特に唱歌、聖書、禮拜、講演、メッセント、幻燈、及び旗旗に由りて高調せられ、又説明せらるゝものである。此プログラムの中心には、世界の教化と共に、教育に關する日曜學校の地位及び目的を表するものを有するのである。

青年會館に於ける展覽會、及び日々の講演は、ツリッソ大会以來の日曜學校の世界的進歩を語るものである。大會中毎日午後に於ける二十九回の協議會は、日曜學校の現代に於ける必要と方法とを徹底せしむるに善き機會を與ふるものある。之には各専門家が其種々難多なる問題に就て講演するであらう。前五日間に於ける同時間の各分科會は、四ヶ國語に於て開催せられ、其後は主として英語にてなし、日本語を以て通譯せらるゝであらう。

各方面よりの要求は、大會の印象と大會に出席する日曜學校指導者の援助とに日本の各地は勿論、他の諸國にも及ぼさんと欲する事であつた。従て各種の旅行團及び他の特種の代員等が、大會前に於て日本及び東洋に於て特別の諸集會を開くに至つた次第である。既に此等の人々はマニラ、香港、及び廣東に於て三回の重要な大會前の集會を開いたのである。更に大會後に於ても、大小廿五回の會合を夫々開催するのであるが、朝鮮に於ては五回、支那に於て六回、シンガポール及びコロomboに於て各一回、印度に於て十回、カイロ及びエルサレムに於て各一回である。而して此等の會議に於て本東京大會の使命は傳へられ、歌、幻燈と、ペーシエントさによりて其消息を傳へるのである。

此東京大會の反響は、各國に於て世界の青少年に善き將來を與へる事となり、各國間により大なる同情と進歩したる了解を齎らす様になりたのである。

勿論大會の眞の成功は代員の忠實なる出席と、協同の精神と、和衷と、世界天仕の熱心を其各々の自國に土産にする才能とに與りて力ある事はいふ迄もない所である。

一九二〇年十月の東京大會を祈りつゝ、

總幹事 フランク、エル、ブラオン

主 題 日曜學校と世界の進歩

毎日の主題 日曜學校の世界的進歩

- 世界の贖主たるイエス、キリスト
- 世界に對する神の啓示に在る聖書
- 兒童の基督者たる嗣業
- 日曜學校と世界の教化
- 日曜學校と教育
- 日曜學校と社會
- 日曜學校と國民的生活
- 日曜學校と新世界

予は米國の教會と日曜學校とを視察するに至つて初めて其偉大の源因を知れり

佛國政治家 D、トツクウヰル

予は實驗上日曜學校の能力を知る、大凡そ最善の訓練にして予の會て得たものは悉く日曜

學校にてなりき

「日曜學校は正に人格の養成と徳性の向上に必要缺くべからざる一種の要因なり」

アドロウ、ウイルソン

第二の國民を訓練するは現代人の最大義務なり

ウイリヤム、イ、グラツドストン

日曜學校

主 題 日曜學校と世界の進歩

火曜日夜 (十月五日)

主 題 『日曜學校と世界の進歩』

開 會 式 (東京イフニング)

大 會 會 場

司會者 神學博士 井深梶之助氏

七 時 音 樂 (日本音樂部員)

七時四十五分 聖書朗讀 「以弗所書二章、十五節—二十二節」

祈 禱 神學博士 監督 エム、シー、ハリス氏

八 時

大會に對して日本よりの歓迎

日本日曜學校協會代表

世界大會日本委員代表

日本日曜學校協會理事

日本委員 副會長

明治學院總理

井深梶之助氏

八時十分

日本基督教會同盟會代表

東京教役者會代表

日本メソヂスト教會監督

鶴崎庚午郎氏

八時二十分

協同ミツシヨン代表

校長

エス、エ、スチユアート氏

八時三十分

第八回世界日曜學校大會後援會代表

侯爵

大隈重信氏

八時四十分

東京市代表

東京市長

子爵

田尻稻次郎氏

八時五十分

答 辭

世界日曜學校協會會長

國會議員

トマス、アル、フエレンス氏

九 時

答 辭

實行委員會長

シヨン、ワナメーカー氏

九時十分

英國、米國、日本國歌

九時二十分

演說『世界進歩の必須要件たる宗教々育』

總幹事

フランク、エル、ブラオン博士

九時四十分

唱歌及び祈禱による祝辭

日曜學校は既に數百萬人を正道に導きたれど未だ一人をも邪道に導きたる事なし

ウイリヤム、イ、グラッドストーン

爰に只一の問題あり『如何にして神の口より出づる眞理を萬人に能く覺らしむるか』是なり

水 曜 日

基督魂こそ我日常の力なれ

同 上

主 題 「日曜學校ノ世界的進歩」
水 曜 日 朝 (十月六日)

會 場 大 會 會 場

九 時

音 樂 (各國及ビ各世紀ヨリノ讚美歌)

司會者 大審院長 大博士 ビ、ゼ、マクラレン氏
(毎朝三十分間ハ教授スミス氏及夫人ニヨリテ露的讚美歌ヲ歌フ事、當
日ノ議題ニ對シテ讚美歌研究ノ時タルベシ)

小亞細亞「榮光は父にあれ」(五四頁)

伊太利「我らは爾を崇む、神よ」(五五頁)

支 那「我が崇むる基督の十字架」(二八番)

九時三十分
十時十五分
十時五十五分
十一時

英吉利「主よ、諸人のために我等は祈る」(七二番)
印 度「たのむもの、おもふものを」(四七番)
亞米利加「光りにあゆめよ」(八〇番)

演説「日曜學校運動ノ濫觴ト發達」
演説「日曜學校ノ統計的勢力」
記念歌、ネイドリンガ「作」沈黙の海

メリオン、ロイランズ氏
ワイリヤム、ジ、ランデス氏
大 會 四 部 合 唱 隊

紀念式交讀文

世界日曜學校指導者ノ肖像除幕式

祈禱會「世界教化ノ基督ノ企圖」

讚美歌「神にめされす、みゆく」(五八番)

「父祖の信なほ活く」(五〇番)

司會者 ハーバート、ウエルチ監督

水曜日午後 (十月六日)

二〇

主 題 『日曜學校ノ世界の進歩』 四分科會

(一) 日本人協議會 (神田救世軍本營)

司會者 川澄明敏氏

題 目 『學校ノ管理ト教師訓練』

二時十分 祈禱會

懇 談 『學校ノ組織』

メリオン、ローランス氏

三 時 『授業中ノ學校』

懇 談

エ、テ、アルノルド氏

四 時 『教師及役員ノ訓練』

懇 談

神學博士 ダブリユー、イ、チャマース氏

(二) 朝鮮人協議會(本郷中央會堂)

司會者 ゼ、ジ、ホルドクラフト氏

題 目 『學校管理ト教師ノ訓練』

二時十分 祈禱會

懇 談 『學校ノ組織』

ヴァン、カーター氏

三 時 『授業中ノ學校』

懇 談

シ、アル、フィツシヤド氏

四 時 『教師及役員ノ訓練』

懇 談

ダブリユ、ザ、ランデス氏

(三) 支那人協議會(神田三崎會館)

二一

題 目

二時十分 『大人、傳道、及び社會奉仕』
祈禱會
『大人級及び運動』
ジョーザ、ダブリエー、パンニマン氏

三時 『日曜學校傳道』
懇 談
神學博士 ダブリエー、イ、ビーダルウルフ氏

四時 『社會奉仕』
懇 談
アサー、ブラツク氏

御 苑 拜 觀
新 宿 御 苑
自 午 後 四 時
至 同 五 時 三 十 分
全 代 員 ノ タ メ

日 曜 學 講 演 (本 日)

- 一、幻燈、活動寫真ヲ以テ説明ス
- 一、神田青年會館ノ講堂ニ於テス
- 一、日本學生、公衆、各代員ニ公開ス
- 一、分擔者ハサムエル、デ、ブライス博士及ゼツセ、エル、マクローリン兩氏
- 一、時間ハ大會中毎日午後二時ヨリ五時マデ、及び同七時半ヨリ九時半マデ
- 一、此講演ハ教育話題廣汎ノ材料ト各國ノ材料ヲ包括シ、活動寫真及び高尚優美ナル寫真板ヲ以テス

日 曜 學 校 展 覽 會 (本 日)

- 一、神田青年會館體育館、及び神田バプテスト會館ニ於テス
- 一、午後二時ヨリ五時マデ、及び同七時半ヨリ九時半迄開會ス
- 一、此展覽會ノ材料及ビ計畫ハ宗教々育ニ對スルモノニテハ、皆各國ヨリ蒐集シタルモノナリ、此等ハ千九百十三年ゾーリツヒニ於ケル世界日曜學校大會以來各國ニ於ケル進歩ヲ印象深ク綴リタルモノナリ

水曜日夜 (十月六日)

主 題 『日曜學校ノ世界的進歩』

會 場 大會會場

七 時 音 樂

『立てよいざ立て』(五五番)

『かひ主わが主よ、まよふわれらを』(四二番)

『やみにこの世のかくる夕べに』(八番)

七時十五分 交 奏 『ページェント』ベツレヘムヨリ東京迄ノ日曜學校』

第一光景—ベツレヘムノ馬槽

第二光景—ベツレヘムヨリノ光全世界ニ耀ク

第三光景—聖壇ヨリ日曜學校ニ於ケル犠牲的奉仕ニ至ル

七時五十分

聖書朗讀(馬太傳廿八章、十六節—二十節)

アルヴァロ、ドス、ライス氏

八 時

演説『日曜學校ノ世界的進歩』

世界各傳道地ヨリノ報告

八時四十五分

讚美歌『世に主をほめ主に世さへぐ』(六番)

八時五十分

演説『日曜學校ノ世界的進歩』

世界各傳道地ヨリノ報告

九時三十五分

閉會式

交 讀 祝禱文(衆和) 使徒祝禱

基督の聖意こそ我が日常の指南車なれ

テ、エル、ムーデー

基督の存在こそ我が日常の歡喜なれ

同 上

基督の榮光こそ我が日常の冠なれ

同 上

木 曜 日 朝 (十月七日)

議 題 『世界ノ贖主ナルイエス、キリスト』

司會者 ゼ、ウイリヤムス、ブツチャー氏

九 時 三 十 分

音楽『讚美歌中ニアル基督傳』

八 時 五 十 分

ベツレヘム『たみみなよるこべ、主はきませり』(一九番)

八 時 四 十 分

ナザレ『あゝナザレの工匠』(五三番)

八 時 三 十 分

ガリラヤ『世の浪さわげど、みこるしづかに』(二四番)

八 時 二 十 分

エルサレム『よを経るみちにも、われはとおごりて』(六六番)

八 時 十 分

カルバリー『都のそとなる丘のうへに』(二二番)

七 時 五 十 分

戴冠式『小羊をほめたゝふる』(二五番)

九 時 三 十 分

演 説 『世界的教主の必要』

神學博士 監督 ジョージ、エチ、ピツクリー氏

十 時 二 十 分

二部合唱 ネードリングル作『衛士よ我等に夜を語れよ』

教授スミス氏及スミス氏夫人

十 時 十 分

讚美歌『父のさだめし時來りて』(六〇番)

十 時 四 十 分

公 告

十 時 三 十 分

演 説 『個人的生活ニ於ケル活ケル基督』

シ、ゲ、トランバル氏

十 時 二 十 分

祈禱會『十字架の力』 神學博士 監督 ハバート、ウエルチ氏

十 時 十 分

讚美歌『不死の愛とわに満つ』(三三番)

十 時 五 分

『我たましいの慕ひよつる』(三三番)

木曜日午後 (十月七日)

主 題 『世界の救主イエス、キリスト』

協議會

(一) 日本人協議會 (救世軍本營)

司會者 鶴 飼 猛 氏

題 目 『禮拜、音樂、ベジエント、美術』

(此協議會ハ教授スミス氏ト同夫人ノ負擔スル所ニシテ、藝術ノ實地講義トシテ
自ラ歌ヒテ範ヲ示スベシ)

二 時 (イ) 日曜學校内ノ禮拜ノ目的、場所、及ビ材料

(ロ) 男女ノ兒童ニ讚美歌集ヲ活用セシムル事

(ハ) 美感及ビ視覺ニ由ル贖ヒノ力

題 目 『兒童科』

二 時 『祈禱會』

二 時 十 分 『嬰兒科』

二 時 卅 五 分 『幼稚科』

三 時 『初等科』

三 時 二 十 五 分 『一年級』

三 時 五 十 分 『嚙ト話手』

四 時 十 五 分 『家庭トノ連絡』

(ニ) 歌ヒ方ト解讀ノ方法

(ホ) 美術畫ニ於ケル福音

(三) 朝鮮人協議會 (赤坂靈南坂教會模範日曜學校教室ニテ)

司會者 ゼ、ヂ、ホルドクラフト氏

シ、デピソン嬢

スシー、エム、ジュアン嬢

マーガレット、アレン、アラオン嬢

マーガレット、カンニンガム嬢

アルセア、アリツガス嬢

ダブリユー、イ、チャマオス夫人

討 議

(三)支那人協議會(神田三崎會館)

司會者 イ、ゼ、テユクスベリー氏

二時十分 『學校ノ組織』

懇談

三時 『授業中ノ學校』

懇談

四時 『教師ノ訓練』

懇談

ダブリュー、サ、ランデイス氏

エ、チ、アーノルド氏

教授 ダブリュー、サ、オエンス氏

兒童に取りては聖書と其中なる真理の研究ほど大切な研究はなし
現代を際立たしむる進歩の基礎には必ず聖書あり

ウードロウ、ウイリソン
ウイリアム、セ、プライアン

英語國代員協議會(赤坂靈南坂教會)

司會者 ゼ、ウードブリツヂ、バーンス夫人

二時 『兒童科』

祈禱會

二時十五分 『聖書之兒童』

『組織ト準備』

二時三十分 『教師ノ教授』

『表情の活動』

三時 『兒童ヲ基督ニ導ク事』

三時十五分 『漸ト話術』(實地教示)

三時四十分 各分科協議

『嬰兒科』

『幼稚園』

『初等科』

『一年級』

四時三十分 議會開會

マガレット、テ、ラツセル夫人

スレーシー、エム、ジューデン嬢

イ、シ、ナツプ夫人

マーガレット、カンニングハム嬢

マーガレット、エレン、ブラオン嬢

アレシア、アリツヤス嬢

シ、デビソン嬢

ヘレン、エウイング、スローン嬢

マーガレット、エレン、ブラオン嬢

イ、イ、ナツプ夫人

日曜學校講演 (本日)

- 一、幻燈、活動寫眞ヲ以テ説明ス
- 一、神田青年會館ノ講堂ニ於テス
- 一、午後二時ヨリ五時マデ、同七時半ヨリ九時半マデ

日曜學校展覽會 (本日)

- 一、神田青年會館ノ體育館、及ビ神田三崎會館ニ於テス
- 一、各國ヨリノ日曜學校材料ノ展覽
- 一、午後二時ヨリ五時マデ、同七時半ヨリ九時半マデ

御苑拜觀 自午後四時 役員講演
至同 六時 者ノタメ

木曜日夜 (十月七日)

主 題 『世界ノ贖主ナルイエス、キリスト』
七 時 音 樂

『我等に一人の御子産れ給へり』(ハンデル作メサヤノ一齣)
『まこと彼は我等の悲哀に産れたり』(ハンデル作メサヤノ一齣)
大會聖歌隊

七時十五分
幻燈『基督傳及ビ彼ノ名ニ於ケル犠牲的奉仕』(獨唱及ビ二部合唱
唱挿入) 教授スミス氏
『光の天使』(クトムス作) 二部合唱
『我等はエスを見ん事を欲す』
讚美詩『香しき御譚を讀みて我は思ふ』(110番)

七時五〇分

聖書朗讀(路加傳一章、六節―七九節)祈禱

總理 大博士 エス、デ、チャウン氏

八時

演説『新時代ニ於ケル基督ノ充實』(東洋人ノ爲メ)

植村 正久氏

八時四十五分

讚美歌『世に在る限り君の榮えと』(三九番)

八時五十分

演説『新時代ニ於ケル基督ノ充實』(泰西人ノ爲メ)

校長 ウエブスター、クルツ博士

九時三十五分

閉會式 交讀 祈禱 祝禱

金曜日午前 (十月八日)

主 題

『世界ニ對スル神ノ啓示タル聖書』

大會會場

司會者 イ、ビ、シエルデン氏

九時

音樂——聖書ニ關スル讚美歌

『よろづのもの、とはにしらす』(五番)

『神のみことばよ、さよさふみよ』(二番)

『さよさみふみの、うるはしさよ』(九番)

『あめよりくだり、人となりし』(二番)

演説『神自身ノ啓示ノ記録タル聖書』

神學博士 エス、エノ、ウオルツ氏

九時半

十時二十分

特別音楽

三六

讚美歌「いのちのみことば、たへにくすし」(二四番)

公 告

十時四十分
十一時半

演説「世界史ニ於ケル聖書」 チャレス、エドワード、ロツク監督
祈禱會「聖書ノ飾リシ事實」 ハーバート、ウエルチ監督

讚美歌「みたまよくたり、わがめを開き」(一七番)

「いのちのかて、われにも」(一五番)

金曜日午後(十月八日)

主 題 「世界ニ對スル神ノ啓示タル聖書」

協 議 會 四 分 科 會

(一)日本人協議會(神田救世軍本營)

司會者 小崎 弘道氏

題 目 「兒童科」

二 時 祈禱會

二時十分 「嬰兒科」

二時三十五分 「幼稚科」

三 時 「初等科」

三時二十五分 「中等科」

シ、デビソン嬢

スミ、エム、ジュテン嬢

マカレット、エレン、ブラオン嬢

イ、シ、ナツプ夫人

三七

三時五十分
四時十五分

『嘶ト話手』

『家庭ノ連絡』

討 議

(二)朝鮮人協議會(中央會堂)

司會者 ゼ、ヂ、ホルドラフト氏

二 時

『禮拜、音樂、ページェントリー、美術』

(教授スミス氏及ビ同夫人分擔シテ唱歌ノ範ヲホシ美術ノ實地講義ヲナスベシ)

二 時

(イ)日曜學校内ノ禮拜ノ目的、場所、及ビ材料

(ロ)男女ノ兒童ニ讚美歌集ヲ活用セシムル事

(ハ)美感及ビ視覺ニヨル贖ノ力

(ニ)歌ヒ方及ビ解讀ノ方法

(ホ)美術畫ニ於ケル福音

アルセア、ブリツダス嬢

ダブリエ、イ、チャーマス夫人

二 時

『青年科』

二 時

祈禱會

二 時

『分科及ビ級組織』

二 時

『週間ノ活動』

三 時

『奉仕ノ徵募ト訓練』

三 時

『支那青年ト其將來』

三 時

(四)英語國民協議會(大會會場)

第一

『青年科』

二 時

祈禱會

(三)支那人協議會(神田三崎會館)

司會者 ゼ、エチ、ブラツクストン氏

フロラ、デグイス嬢

エツイレナ、ナン嬢

マカレット、カンニンガム嬢

ウエシー、ビ、ホンシンガ嬢

司會者 ゼ、ウイリヤム、ブツチャー氏

校長 エチ、ク、オバー氏

二時十分

『分科組織』

フロラ、ビデス嬢

二時二十五分

『級組織』

教授フレデリック、エム、マツゴイ氏

二時四十分

『週間プログラム』

カロール、ストレッツカー嬢

二時五十分

『年長児童及ビ少女ノ協議會』

マガレット、ビ、ブル嬢

三時十分

『基督者の生涯ト奉仕ニ對スル募集』

神學博士ロバート、イ、ヤツケンソン氏

三時二十五分

『大學青年ト日曜學校』

クレア、アムストロング嬢

三時四十分

『召命問題』

エ、エル、ムーア氏

三時五十分

『各傳道地ニ於ケル青年ト日曜學校』

ジョージ、ビ、ホーワード氏

懇 談

第二 題

目

『日曜學課ト文學』(銀座教會)

司會者 神學博士 ジョン、テ、フェリス氏

二 時

祈禱會

フランク、エチ、ラングフォールド氏

二時十分

『各傳道地ニ於ケル課程ノ現状』

ジ、ビ、ベイター夫人

二時五十分

『傳道地郷土相應ノ課程作成』

三時三十分

『分科ト材料ニ關スル必要』

四時十分

『日曜學校課程ノ公開』

(イ) 雇役員

(ロ) 進歩ノ必要

第三 題

目

『宣敎事業ニ就テノ教育ニ對スル計畫』

(會 場 帝國ホテル)

司會者 エフ、シ、スチブソン氏

二 時

祈禱會

ウリナム、ビ、オルムステッド氏

- 二時 十分
- 二時 三十分
- 二時 五十分
- 三時 十分
- 三時 三十分
- 三時 五十分

「日曜學校教室ニ於テ」
 「教壇ヨリ」
 「傳道局研究室ニテ」
 「夏季講習會ニヨリテ」
 「名簿上ノ指導研究」
 「奉仕ノ活動」

ジ、ビ、ベ、ー、チ、ー、夫、人
 ゼ、シ、ロ、バ、ー、ト、ソ、ン、博、士
 エ、フ、シ、ス、チ、フ、ン、ツ、ン、夫、人
 エ、フ、シ、ス、チ、ブ、ン、ソ、ン、博、士
 ダ、ブ、リ、ユ、ー、イ、ラ、ン、ベ、博、士
 フ、ラ、ン、ク、エ、チ、ラ、ン、グ、フ、オ、ル、ド、氏

日曜學校講演

(本日)

- 一、幻燈及ビ活動寫真ヲ以テ説明ス
- 一、神田青年會館講堂ニ於テス
- 一、午後二時ヨリ五時マデ、同七時半ヨリ九時半マデ

日曜學校展覽會

(本日)

- 一、各國ヨリノ日曜學校ニ關スル材料ノ展覽會
- 一、神田青年會體育館、及ビ神田バプテスト會館ニ於テ
- 一、午後二時ヨリ五時マデ、同七時半ヨリ九時半マデ

東京市招待會

日比谷公園
 自午後三時
 至同五時
 全代員ノ爲メ

金 曜 日 夜 (十月八日)

主 題 『世界ニ對スル神ノ啓示タル聖書』

大 會 會 場

七 時 音 樂

グノー作『爾の御光を送れよ』

讚美歌(伊太利讚美歌)

『力に富める語の主よ』

『山の彼方に美しく見ゆ』(グノー作贖罪ノ二齣)

七時十五分

幻燈『全世界の聖書』(讚美歌説明付)

七時五十分

聖書朗讀(ヘブライ書一章、一節―十二節)

祈 禱

監督

サルヂユース氏

八 時

演説『個人生活ニ於ケル聖書』

ダブリユー、エチ、グードウイン氏

八時四十五分

讚美歌『主のたふとき御語はゆるぎなき』(一八番)

五 十 分

演説『社會的勢力トシテノ聖書』

教授 ヘンリー、イ、ドスカ―博士

九時三十五分

閉會式、交讀、祝禱

日曜學校は世界最大經典を流布する最大の學校なり ウィリヤム、イ、グラツドストーン
聖書は心意を鼓舞し、良心を聰明にし、進路に眞の光明を與ふる唯一の書なり

米國海軍卿 シヨセフアス、ダニエルス

英人は一書籍の民となれり、其書は聖書なり

英國歴史 グリーン

吾人の成文律の基礎は十誡にあり、十誡は聖書の研究に俟つ

ウィリヤム、セ、プライヤン

土曜日朝 (十月九日)

主 題 『兒童ノ基督者タル副業』

大 會 々 場

司會者 アサー、ブラツク氏

九 時

祈禱會

監督 ハーバート、ウエルチ氏

九時三十分

『神は我等の保持者にして羊飼なり』(五六頁、五七頁)

九時五十分

演説『拉丁アメリカの兒童』

アルゲアロ、ドス、ライス氏

十時二十分

演説『戦禍ノ歐洲ニ於ケル兒童』

セ、ウィリヤム、アツチヤイ氏

十時五十分

讃美歌『罪の淵に陥りて』(六四番)

十時三十分

十時五十分

十一時十五分

十二時二十分

演説『東洋ニ於ケル兒童』

小崎弘道氏

讃美歌『つとめいそしめ』(六三番)

演説『各國ニ對スル世界的プログラム』

大博士 フランク、エル、ブラオン氏

世界の救はるゝは兒童に由る外あるべからず

エフ、ビ、マイヤー博士

両親の祈禱が只言葉のみならず、業にも、日常にも、之を行はば其子女も亦祈禱するに至らん

教授 フランシス、ザ、ビーゴデー

家族こそ人類の道徳的教育の第一歩なれ

同 上

土曜日午後 (十月九日)

主 題 『兒童ノ基督者タル嗣業』

第一英語國代員協議會(神田三崎會館)

司會者 メリオン、ローレンス氏

(イ)題目『學校管理』

二 時

祈禱會

ダブリユー、ゼ、フランク氏

二時十分

『學校組織』

ゼイ、コーガン氏

二時二十五分

『日曜學校教課目』

ダブリユー、イ、チャマース博士

二時四十分

『役員及教師の訓練』

ジョン、デイー、ハスケル氏

二時五十分

『學校記録』

レランド、エチ、コール氏

三時 十分

『役員會』

ワイリアム、ビー、アングレーソン氏

三時二十五分

『表情的活動』

ワインフィールド、エチ、ブロック氏

三時四十分

『禮拜、音樂、ベヂェントリー、美術(實演付)』

エチ、アウガスチンスミス氏夫妻

(第二)英語協議會(大會々場)

(本會ハ宣教師ノタメニ開カル、但シ宣教師外モ出席隨意)

司會者 エー、エル、ライアン氏

二 時

(ロ)題目『方法ト教師ノ訓練』

ワイルソン、ビー、ミントン氏

二時十分

『方言ニ於ケル有効ナル教課ト文字』(傳道地ヨリノ報告)

ワイルソン、ビー、ミントン氏

二時四十分

『日曜學校ノ諸方法』

デイー、ノルマン氏

二時五十分

(イ)『村落ニ於テ』

デイー、ノルマン氏

二時五十分

(ロ)『組織アル教會ニ於テ』

イ、エチ、ブーグ氏

三時 時

(ハ)「教育機關ニ於テ」

ザアン、ノルドホフ氏

三時 十分

(ニ)「都市ノ傳道學校」

ウインフキールド、エス、ドレーパー嬢

三時 三十分

懇 談

三時 四十分

「土着ノ教師ノ訓練」

(イ)「師範科ニヨツテ」

ダブリユー、セ、キヤラハン氏

三時 五十分

(ロ)「教課ト豫備科トニヨツテ」

エー、ケー、フアウスト博士

四 時

(ハ)「大學及ビ神學校ノ宗教々育科ニヨツテ」

ビー、エフ、シバリー博士

四 時 十分

(ニ)「夏期學校ニヨツテ」

ビー、エー、デービー氏

四 時 十分

(ホ)「公立學校ニヨツテ」

イー、ジー、チウクスバリー氏
ホレーダ、イー、コトルマン氏

(第三)英語國代員協議會(帝國ホテル)

幹事協議會

(日曜學校事業、外國、内國、教派、國家、幹事ノタメ)

司會者 ダブリユー、デー、ランデイス氏

デー、エル、ロレンゾー氏

二 時

二時 十分

「奉仕ヲ有効ナラシムル爲メノ教派非教派日曜學校代表者ノ協
同」

エ、エル、ライアン氏

二時 十八分

「有効ナル教派ノ日曜學校組織」

ダブリユー、イ、チャマース博士

二時 二十六分

「有効ナル教派日曜學校ノ組織」

ヤ、シ、ロバートソン博士

二時 三十四分

「日曜學校幹事」

イ、エス、レシー氏

(イ)其準備

- 二時四十二分
- 二時五十分
- 二時五十八分
- 三時六分
- 三時十四分
- 三時二十二分
- 三時三十分
- 三時三十八分
- 三時四十六分
- 三時五十四分

- (ロ)其關係
 - (ハ)其義務
 - (一)事務室ニテ
 - (二)傳道地ニテ
 - (イ)補助的機關ノ擴張
 - (ロ)日曜學校大會ノ計畫設立
 - (ハ)公立學校ノ設立
 - (ニ)地方機關ノ設立
 - (ホ)夏期修養學校ノ設立
 - (ヘ)諸計畫ノ公告
 - (三)彼ノ休暇
 - 『有効ナル日曜學校組織ノ文書』
 - (イ)外國傳道地ニ對シテ
- 五二
- セ、ヒ、エルドマン氏
 - 神學博士 シヨセフ、クラーク氏
 - 川 澄明 敏 氏
 - セ、エル、マクローリン氏
 - デー、ダブリュー、シムス氏
 - ヴァン、カーター氏
 - ホーレス、イー、コールマン氏
 - ダブリュー、デー、ランデイス氏
 - セ、デー、ホルドクラフト氏
 - イー、デー、チウクスマリー氏

- 四時二分
- 四時十分
- 四時十八分
- 四時二十六分
- 四時三十四分

- (ロ)内國傳道地ニ對シテ
 - 『標準ト認可トノ價值』
 - (イ)學校ニ對シテ
 - (ロ)組織的ノ各級ニ對シテ
 - (ハ)役員ニ對シテ
 - 『各傳道地ニ於テノ特殊ノ要求』
- 五三
- エー、テイ、アーノルド氏
 - シー、アール、フィッシュヤー氏
 - 神學士 フランク、エッチ、ラングフォード氏
 - マーガレット、エレン、ブラオン氏

日曜學校講演 (本日)

- 一、幻燈及ビ活動寫真ヲ以テ説明ス
- 一、神田青年會館ニ於テ
- 一、午後二時ヨリ五時マデ、同七時半ヨリ九時半マデ

日曜學校展覽會 (本日)

- 一、各國ヨリノ日曜學校ニ關スル材料ノ展覽會
- 一、神田青年會館體育館及ビ神田バプチスト會館ニ於テ
- 一、午後二時ヨリ五時マデ、同七時半ヨリ九時半マデ

公開音樂會

大會會場
自午後三時半
至同五時半
入場券三圓、五圓、拾圓

土曜日夜 (十月九日)

主題 『兒童ノ嗣業』

大會會場

七時 音樂

- 讚美歌『少年のための献げ歌』(三〇番)
- 『母のための献げ歌』(四四番)
- 『父のための献げ歌』(六九番)
- ベーチエント『兒童の權利』
- 第一景 家庭ニ於ケル宗教々々
- 第二景 家庭生活ノ働キ中ノ惡ノ力
- 第三景 社會ニ於ケル宗教々々

七時五十分

聖書朗讀(提摩太後書第一章、一節―十一節)

五六

八時

祈禱
演説『基督教プログラムニ於ケル兒童ノ地位』
セ、ウードブリツヤ、バインス夫人

八時四十五分

讚美歌『いとしき子供の我を見れば』(四六番)

八時五十分

演説『世界ノ新時代ニ於ケル兒童ノ權利』
ジョージ、ヒ、ホソード氏

九時三十五分

閉會式 交互讀唱 祝禱

我々皆神の如くに富かざりし神を成するに注望せしむ可らず

教授 フランシス、ザ、ヒーポーター

吾人は現時に將來の創造者たらしめざる可らず

セオドル、ルーズヴェルト

日曜日朝 (十月十日)

主題 『日曜學校ト世界傳道』

各教會ニ於テ朝ノ禮拜ヲナス、各代員ノ演説

題目 『日曜學校ト世界ノ進歩』

東京及ビ附近ハ定期日曜學校出席日曜學校長ノ演説アルベシ
大會進行中大會ノタメノ共同禮拜トシテ『世界日曜學校日』

(スミス教授ノ願備ニヨル)

創造主なる神! 贖ひ主なる基督!

(一) 創造主ニシテ、イト高キ送惠者ノ神、

器樂演奏

讚美歌(全員起立)

『聖なる聖なる聖なるかな』交互讀唱

(二) 平和ノ君、イムマニエル

交互讀唱

(三) 救ヒ主ニ對スル世界ノ喚呼

交互讀唱

(四) 傳道者基督トソノ代遺者

交互讀唱 紀念ノタメ

(五) 基督ノ戴冠式

交互讀唱

世界のためテモクラシーの保障者たる者は二機關のみ、其二機關は教會と學校なり

ボストン大學教授 アセアン

日曜日午後

午後二時

東京日曜學校ノ大行列

日曜日夜 (十月十日)

主 題 『日曜學校ト世界傳道』

大會會場

七 時

(イ) 東京市各教會ニ於テノ禮拜。大會各代員ノ説教。

(ロ) 大會議場ニ於テノ禮拜。

合唱、オケストラ、喇叭ヲ以テ讚美歌禮拜(晴天ナラバ屋外ニテ)

七時二十分

大會議場内ニ進行ス

讚美歌『みよや十字の旗高し』(五五番)

七時三十分

音 樂 (日本兒童の合唱)

バーカー作『エルサレム』

ライネス作『頭を挙げよ』

七時四十分

聖書朗讀(イザヤ書第三十五章)

祈 禱

監督 エッチ、ゼ、ハミルトン氏

七時五十分

演說『兒童ニヨレル世界ノ救済』

校長 テ、ダブリエー、クルツ氏

八時三十分

讚美歌『あまつみつかひよ、エスの御名を』(二六番)

八時四十分

活動寫眞『善きサマリア人』

八時五十分

演說『傷メル世界ノ治療ト救助』

教授エ、エル、ルードロウ氏

九時四十分

閉會式

祈禱 讚美歌 祝禱

月 曜 日 朝 (十月十一日)

主 題 『日曜學校と教育』

大 會 議 場

司會者 ゼ、シ、ロバートソン博士

九 時

音 樂 各級讚美歌の材料

幼稚科——『エスさまのはなし、きかせて』(二二番)

初等科——『エスキミはいとうるはし』(五二番)

中等科——『凡ての者を愛し給ふ天の父よ』(四六番)

高等科——『惡魔の國をうちたひらぐる』(五一番)

九時三十分

演說『萬國日曜學校學課組織』

二部合唱バック作『主はわが光』

教授 スミス氏夫妻

十時四十分

讚美歌『我君エスよわれに教へて』(五九番)
廣 告

演説『一般及宗教的教育機關の可能的協力』

ジョン、テイー、フエリス博士

十一時三十分

祈禱會『奉仕ノ生涯』

ハーバート、ウエルチ監督

讚美歌『さみなるエスよ、けがれしわれを』(四五番)

『神よ眞理を下し給へ』(七〇番)

鎌倉招待會

自午後〇時四十五分
至同 六 時
海外代員ノタメ

日曜學校講演

一、幻燈、活動寫眞ヲ以テ説明ス

一、神田青年會館ノ講堂ニ於テ

一、午後二時ヨリ五時マデ、同七時半ヨリ九時半マデ

日曜學校展覽會

一、神田青年會館體育館、及神田バプチスト會館ニ於テ

一、各國ヨリノ日曜學校材料ノ展覽

一、午後二時ヨリ五時マデ、同七時半ヨリ九時半マデ

月 曜 日 夜 (十月十一日)

議 題 『日曜學校ト教育』

大 會 會 場

七 時

音樂—大會合唱團、獨唱家、オーケストラニヨル特別音樂

『開け永しへの門なる汝』(グノー作)レテンブション(一齣)

『天の父』ハンデル作

『聖なる』グノー作

『ハレルヤ』ハンデル作

七時五十分

聖書朗讀(提摩太第二章、一節—十五節)

日 曜 日 祈 禱

ヘンリー、チー、オーベル氏

八 時

演説『宗教々育ニ對スル日曜學校ノプログラム』

ダブリュー、イー、チャルマース博士

八時四十五分

讚美歌『あめなる喜び、こよなき愛を』(七一番)

八時五十分

演説『人格ノ完キ成就ハ教育ノ真目的也』

マーガレット、スラツテリー氏

九時三十五分

閉會式 交讀 祝禱

最善の大學は日曜學校なり

デビッド、ロイド、ザヨルナ

聖書化せらるゝ迄は教育を受けたるものに非ず 米國海軍卿 ジョセフアス、ダニエルス

火曜日朝 (十月十二日)

主 題 『日曜學校ト社會』

大會 議 場

司會者 チョーヂ、ダブリユー、ワッツ氏

九 時

音 樂 『社會的奉仕ノ讚美歌』

『こゝも神の御國なれば』(七番)

『喜びの歌ある所に天の國』(七四番)

『よを經るみちにも』(六六番)

『主よわれを共に行かしめよ』(六五番)

『組織的の大人級ト社會』

特別音樂

ゲョーヂ、ダブリユー、マンニマン氏

九時三十分

十時二十分

十時四十分

十時三十分

讚美歌『父のさだめし時來りて』(六〇番)

廣 告

演說『社會的勢力トシテノ公立學校』

ルファス、ダブリユー、ミラー博士

祈禱會『正義ノ愛』

ハーバート、ウエルチ監督

『主よをばりまでつかへまつらん』(二七番)

『救主、なんぢの愛』(四〇番)

消徳を忘れて思想のみ教養せられたる者は社會の害毒なり

セオドル、ルーズヴェルト

兒童は社會無秩序の主たる矯正者なり

同 上

火曜日午後 (十月十二日)

主 題 『日曜學校ト社會』

二分科會『英語ト日本語ト』出席隨意
(一) 兒童ノ福祉ニ關スル聯合協議會

大會會場

二 時

祈 禱 會

司會者

アーサー・ブラツク氏

二時十分

『大英國ニ於ケル兒童ノ時代計畫』

ダブリユー、アル、パウマン氏
アーサー、アラツク氏

二時五十分

『カナダニ於ケル、兒童福祉事業ノ發達』

『アメリカト兒童』

エフ、ルイス、バーバー博士
セウードアリツサ、パトンス夫人

三時十分

三時三十分

『日本ニ於ケル兒童ニ對スル安全第一計畫』

内 田 嘉 吉 氏

三時五十分

『寺那ニ於ケル兒童ノ要求』

ウエルシー、ビー、ホニンガー氏

四時十分

『他ノ傳道地ニ於ケル計畫』

四時三十分

『兒童福祉ニ關シテ望マシキ次ノ段階』

(二) 教師養成ニ關スル聯合協議會

會 場 銀 座 教 會

司會者 ダブリユー、イー、チケルマース博士

二 時

祈 禱 會

ヘンリー、エー、ポイド氏

二時十分

『國語及方言ノ有効ナル訓練科』

地 方 主 事

二時四十分

『通信及讀書科ニヨル訓練』

イー、ジュー、チウクスバリー氏

三時十分

『地方日曜學校ニ於ケル養成科』

セ、エチ、エンゲル氏

三時四十分

『日曜學校制度ニヨル訓練』

エー、エル、ライアン氏

四時十分
四時四十分

『基督教的教育機關ニ於ケル養成科』

『夏期學校ニヨツテノ訓練』

協議會 四分科會

(一)日本人協議會(救世軍本營)

司會者 神學博士 井深梶之助氏

『青年科』

祈禱會

『分科ノ組織』

『級組織』

『週間活動』

『奉仕應募ト訓練』

七〇

ウイ、ビ、マンモン氏

ジョセフ、クラーク博士

ホレリス、イー、コルマン氏

ゼ、エチ、エンゲル氏

テ、ダブリユー、シムス氏

シ、アル、フィツシャー氏

イ、エマンネット氏

二時十分
二時五十分
三時三十分

『禁酒、社會的奉仕、大人』

祈禱會

『禁酒ノ計畫ト進歩』

『社會的奉仕ト兒童』

『大人科ト運動』

討

(二)朝鮮人協議會(中央會堂)

司會者 ゼ、ジ、ホルドクラフト氏

アマンダ、ランデイス氏

アーサー、ブラツク氏

メルビン、ダブリユー、カレンダー氏

(三)支那人協議會(神田三崎會館)

司會者 ゼ、エツチ、ブラクストン氏

『禮拜、音樂、ベーヂェント、美術』

(教授スミス氏及ピ同夫人分擔シ、歌唱ノ範ヲ示シ、美術ノ實地講義ヲナスベシ)

七一

二時

七二

- (イ) 日曜學校内ノ禮拜ノ目的、場所及ビ材料
- (ロ) 男女ノ兒童ニ讚美歌集ヲ活用セシムル事
- (ハ) 美感及ビ視覺ニヨル贖ノ力
- (ニ) 讚美歌ヲ歌フ方法ト解讀ノ方法
- (ホ) 美術畫ニ於ケル福音
- 二分科會(英語及び日本語)出席隨意
- (四) 傳道ニ關スル聯合協議會(神田三崎會館)

神學博士

ダブリユー、イ、ビードルウルフ氏

二時

エル、カルチス博士

祈禱會

二時二十分

『教會建設ニ於ケル日曜學校傳道ノ切要』

ウォルター、イー、シヨルダン氏

二時四十五分

『日曜學校傳道ノ諸方法』

エヌ、ビー、マスタース博士

三時十分

『階級的傳道』

エム、ボンナー夫人

三時三十五分

『日曜學校ノ傳道的優越』

チャールズ、ゲー、トランパル氏

四時

『諸傳道地ニ於ケル計畫』

ダブリユー、エチ、ステーンズ氏

ミトリ、デウエーリー氏

ゼ、エチ、ブラックストーン氏

其他

日曜學校講演

- 一、幻燈活動寫真ヲ以テ説明ス
- 一、神田青年會館ノ講堂ニ於テ
- 一、午後二時ヨリ五時半マデ七時半ヨリ九時半マデ

日曜學校展覽會

- 一、神田青年會館體育館及ビ神田バプテスト會館ニ於テ
- 一、各國ヨリノ日曜學校材料ノ展覽
- 一、午後二時ヨリ五時マデ、同七時半ヨリ九時半マデ

長期間の國家の福祉は懸りて國民の正義に在リ

セオドル、ルーズヴェルト

宗教々育に失敗し智育に成功したる國家は廢殘の道程にあるものなり

ハンシルヴァニア洲知事 プラムロー

火曜日夜 (十月十二日)

主 題 『日曜學校ト社會』

大 會 會 場

七 時 音 樂 禮 拜

讚美歌『夕日おちてそらくらく』(一〇番)

『一の笛ひびきて御旗あがれり』(五四番)

『わが目は榮光を見たり』(六七番)

ベーチェント『美はしき都』

第一景『ダビデ王ノ聖キ都』

第二景『椰子ノ日曜ノ聖都』

第三景『マホメット支配下ノ聖都、十字軍ノ攻撃』

七時五十分

第四景『現在ノ都市ニ活ク惡靈』
第五景『新世界ノ秩序アル都』預言者ノ幻『戴冠式』
聖書朗讀(イザヤ書第二十六章、一節―九節)

祈 禱

八 時

演 說『兒童生活ノ保全』

アーサー、アラック氏

八時四十五分

讚美歌『立てよいざ立て』(六一番)

八時五十分

演 說『基督教的家庭、社會的品性ノ基礎』

ダブリュー、イー、ビー、ダルウルフ博士

九時三十五分

閉會式

祈 禱

讚美歌

祝 禱

水曜日朝 (十月十三日)

主 題 『日曜學校と國民生活』

大會會場

司會者 コーシ、シー、ウエプスター氏

九 時

音 樂『基督教的爱國心ノ讚美歌』

『地の美はしむ』(三番)

『日のみ旗』(八六番)

『わが國は汝のものなり』(八一番)

『よろづのくにへやすくあれ』(七二番)

演 說『眞市民ノ建設者タル日曜學校』

セ、ウイリヤム、ブツチャイ氏

十時二十分

特別音楽

『旗高くあげよ』(七五番)

廣告

演 說『眞ノ愛國心ヲ教フベキ日曜學校』

フランク、ダブリュー、ランゲフオード氏

ハーバード、ウエルチ監督

十一時三十分

祈禱會『友誼ノ基礎』

『つはものと共に進め』(五六番)

『神の慈悲よそになし』(六二頁)

一代の國民を掌握せば惡魔は最早無力なり

デ、エル、ムーデー

水曜日午後 (十月十三日)

主 題 『日曜學校ト國民生活』

三分科會(英語及ビ日本語)出席隨意

(一) 母及婦人ニ關スル聯合協議會

大會會場

司會者

エ、エフ、エヴァメア夫人
ホーレス、イ、コールマン夫人

教頭 メリー、エー、ソーヤー嬢

ハリエツト、ペーリー、クラーク氏

マーガレット、エレン、アラウン氏

マーガレット、テイ、ラツセル夫人

二 時 祈禱會

二時十分 『明日ノ母性』

二時四十分 『婦人ノ聖書研究會』

三時五分 『家庭ニ於ケル聖書』

三時三十分
三時五十分
四時十五分

『家庭科ト母』
『婦人ト新時代』
『母ト其娘』

マーガレット、イー、ストラング嬢
ウエルシー、ビー、ホンシンガー嬢
マーガレット、スラツテリー嬢

(二)地方ニ關スル協議會(救世軍本營)

二時

祈禱會

司會者

チヨセフ、クラーク博士

二時十分

『田舎ノ經濟』

二時四十分

『田舎ノ社會及ビ道德問題』

三時十分

『田舎ノ工業狀態』

三時四十分

『田舎ノ宗教生活』

四時十分

『日曜學校ト田舎生活』

(三)禁酒ニ關スル聯合協議會(京橋銀座教會)

司會者

ゼ、シ、ロバートソン博士

二時

祈禱會

アルヴァロ、ドス、ライス氏

二時十分

『大英國及ビ歐洲ニ於ケル禁酒革命』
ダブリユー、ジー、ブール博士

二時四十分

『アメリカニ於ケル禁酒ノ發達』
ゼ、エツチ、ハインレー博士

三時五分

『日本ニ於ケル禁酒發達』
安藤 太郎氏

三時三十分

『世界ニ於ケル禁酒ノ進歩』
エー、エル、ムモア氏

三時五十分

『國際的禁酒問題』
ゼー、ゼー、マクラレン博士

四時二十分

『公立學校ニ於ケル禁酒教育』
アマンド、ランドス嬢

四時四十分

『日曜學校ニ於ケル禁酒計畫』
ダブリユー、ヤー、ランドス氏

大人の救は小兒の救に初まる
兒童の必要こそは教師の指南車なるれ

ウイリヤム、ゼ、ブライヤン
セオドル、ルーズヴエルト

四分科 協議會

(一)日本人協議會(神田救世軍本營)

司會者

江原素六氏

題目

『社會的奉仕、禁酒、大人』

二時十分

祈禱會

二時五十分

『社會的奉仕ト兒童』

三時三十分

『禁酒ノ計畫ト進歩』

討論

『大人級ト運動』

アーサー、ブラツク氏

アマンド、ランデイス嬢

ジョン、テイ、フアリス博士

(二)朝鮮人協議會(本郷、中央會堂)

司會者

ゼ、ジ、ホルドラフト氏

二時十分

二時四十分

三時二十分

四時

題目 『青年ノ分科』

祈禱會

『分科ノ組織』

『級ノ組織』

『週間運動』

『奉仕募集ト訓練』

討論

大司會者

イ、エチ、エンゲル氏

デ、ダブリー、シムス氏

シ、アル、フィシャー氏

アル、バルヂェス氏

(三)支那人協議會(赤阪靈南坂教會)

司會者

イ、デー、チユクスバリー氏

題目

『兒童ノ分科』

- 二時
- 二時十分
- 二時四十分
- 三時十分
- 三時四十分
- 四時十分
- 四時四十分

祈禱會

【嬰兒科】

【幼稚科】

【初等科】

【中等科】

【嘶と話手】

【家庭トノ連絡】

- シ、デビソン嬢
- ヘレン、スロアン嬢
- クレイル、モルガン嬢
- ジ、ビ、ベイトイー嬢
- アルセア、ブリツヂス嬢
- ジ、ビ、ベイトイー博士

後援會招待會

大會々々場
自午後四時
至同六時四十分
全員ノタメ

日曜學校講演

- 一、幻燈活動寫真ヲ以テ説明ス
- 一、神田青年會館ノ講堂ニ於テ
- 一、午後二時ヨリ五時マデ、同七時半ヨリ九時半マデ

日曜學校展覽會

- 一、神田青年會館體育館及ビ神田バプテスト會館ニ於テ
- 一、各國ヨリノ日曜學校材料ノ展覽
- 一、午後二時ヨリ五時マデ同七時半ヨリ九時半マデ

水曜 日夜 (十月十三日)

主 題 『日曜學校ト國民生活』

大 會 會 場

七 時 音 樂

グノー作『エルサレムよ汝の主なる神に向へよ』

スミス夫人獨唱

シユネツカ作『古へよりの我らの父なる神』

七時十五分 幻燈

『十字架ト旗トノ物語』

『大政治家ト聖書、及び其基督教々育ニ對スル貢獻』

(讚美歌ニテ説明ヲ附ス)

日曜學校

七時五十分

聖書朗讀 (詩篇第三十三編、六節―二十二節)

祈 禱

ヘンリー、エー、ポイド氏

八 時

演說『基督教ノプログラムト國家ノ進歩』

校長 海老名彈正氏

八時四十五分

讚美歌『ひよや十字の旗高し』(五五番)

八時五十分

『基督教ノプログラムト國家ノ發展』

ウイリアム、シー、ブール博士

九時三十五分

閉會式、交互讀唱、祝禱、

吾人は少年の宗教々育に由りてのみ吾人の自由を保有し得

ジョージ、ワシントン

木曜日朝 (十月十四日)

大會會場

主 題 『日曜學校ト新世界』

司會者 マリオオン、ローレンス氏

九 時 音 樂

- 『全世界ノ平和ト交誼トノ讚美歌』
- 『旗高くあげよ』(七五番)
- 『此民らは高きもの』(七九番)
- 『日のでる限りは』(七八番)
- 『あしたのひかりや、あらはれ』(六二番)

九時三十分

演説『世界的奉仕ニ於ケル基督教ノ愛他主義』

ダブリュー、イー、ランベ博士

十時二十分

讚美歌『いとたふとき主はまもりて』(一三番)

廣 告

十時四十分

演説『新世界運動ト大委任權』

校長 ジョン、エフ、ゴーチヤー博士

十一時三十分

祈禱會『萬國ノ宗教』

ハーバート、ウエルチ監督

讚美歌『主よみもとに近づかん』(四三番)

『民みな喜び、主は來ませり』(一九番)

木曜日午後 (十月十四日)

主 題 『日曜學校ト新世界』

大人ノ活動ニ關スル聯合協議會

會 場 大會會場

司會者 チャーレス、ダブリユー、ブリウベーカー博士

祈禱會 セ、ビ、エルドマン氏

二時 十分 『大人聖書研究會運動』

ザヨ、ダブリウ、メンニマン氏

二時 三十分 『大人ノ聖書研究會ト其活動』

イー、イー、マツカード氏

三 時 『父母會』

マーガレット、テイ、ラッセル夫人

三時 二十五分 『家庭科』

ルシー、エス、ピティンガー校長

三時 五十分 『父母會』

スシー、エム、ジエタン氏

四時 十分 『家庭ノ中心ニ家族ノ祭壇』

ダブリユー、イー、ピトダーウルフ博士

日曜學校講演 (本日)

一、幻燈、活動寫真ヲ以テ説明ス

一、神田青年會館ノ講堂ニ於テ

一、午後二時ヨリ五時マデ、同七時半ヨリ九時半マデ

日曜學校展覽會 (本日)

一、神田青年會館體育館及ビ神田バプテスト會館ニ於テ

一、各國ヨリノ日曜學校材斗ノ展覽

一、午後二時ヨリ五時マデ、同七時半ヨリ九時半マデ

木曜日夜 (十月十四日)

主 題 『日曜學校ト新世界』

大 會 會 場

七 時 唱歌(晴天ナラバ屋外ニテ)

七時十五分 議場内ニ進行

七時二十五分 ベーヂェント『基督ノ十字架』

七時五十分 聖書朗讀(黙示録第二十一章・一節―七節)

祈 禱

八 時

演説『眞ノ世界的友誼ノ基礎トシテノ基督ノ理想』

神學博士監督 ウォーター、アール、ランバス氏

セ、ヒ、ハワード氏

八時四十五分 讚美歌『主の十字架をわれは崇む』(二八番)

八時五十分 演説『新世界ノ希望タル常住ノ基督』

九時三十五分 閉會式、唱和、主ノ祈、

讚美歌『ものみなこぞりてエスのみ名を崇む』

祝 禱

(以上)

日曜學校は世界最大經典を流布する最大の學校なり
日曜學校教育は道義向上と宗教心獲得のためには絶對必要なり
予の今日あるは日曜學校に於ける夙き時の訓練に負ふ
日曜學校は萬卷の成文律よりも良民の利益たりき

ワイリヤム、イ、グラツドストン

ワイリヤム、ホワード、ダフト

オハヨオ州知事 キヤンベル

メリオン、ローランズ

日曜學校は兒童に正義を教へ、家庭は兒童に正義の實行を習はしむる處なり

判事 ベンヤミン、ピ、リンゼー

予の十六年間の少年裁判所の判事たりし經驗によれば、兒童の徳育養成は日曜學校に限るとの信念を深からしむ

同 上

日曜學校の優越の抵度は將來の國民の優越の抵度を語る

ミノソダ州知事 ハンモンド

日曜學校は確かに基督教的品性と共和的公民權の基礎を爲すものなり

スミス大學校長 ミス、バートン

予は日曜學校の事業の成功に比較する他の如何なる事業かも知らず

ジョン、ワナメーカー

日曜學校は現存の善を完成し將來の安全保障の最大動力なり

ニウセルシー知事 ランヨン

ウドロー、ワイルソン

現在の日曜學校課程は將來の道徳の經典なり

市俄古市には四十八の州立及び國立銀行あり、此中四十五は皆基督者を以て

其役員とす

アンドリウ、スタングンソン

役員全氏名 (▲ハ死亡)

會長

テ、アル、フエレンス閣下

英國倫敦國會議員

前會長

▲ サイ、フランシス、エフ、ペ、ルセー氏 (セ、ピ)

▲ 、ピ、エフ、シヤコフ氏

▲ エドワード、タワース氏 (セ、ピ)

▲ イ、ク、ワレン氏

▲ エフ、ビ、マイヤー博士

英國倫敦

▲ ショーザ、ダブリュー、ペレー博士

▲ サイ、ロバート、レイドロウ氏 (セ、ピ)

副會長

イ、ダブリュー、フリツチレー氏

印度フォルト、ホンバー

ダブリエー、エヌ、ハートシヨルン氏
監督 セ、シ、ハートセル博士

米國ホストン市

サー、シヨン、カーク氏

米國オハヨ洲プリュー、アツシ

判事セ、セ、マクラレン閣下

英國倫敦
カナダ、トロント市

名譽副會長

ビ、ケ、アルバーチン氏

南亞ケープロコニー

エチ、エチ、ベル博士

カリフォルニア桑港

公爵 オスカル、ベルナドツト

瑞典ストツクホルム

エチ、ビ、クロウエル

米國市俄古市

ジュスト、キユピロ博士

南米モントウイドー

セ、マンロー、ギブソン博士

英國倫敦

ダブリエー、エチ、グロサー氏

英國倫敦

エチ、リブソン、ハンコツク

南美洲、ワラルーマインス

井深梶之助博士

日本東京市

公爵 キンネード閣下

英國倫敦

シヨン、マツケンナー氏

濠洲メルホルン

エヌ、エ、モフエツト博士

朝鮮平壤

アル、セ、リース氏

瑞西ブリーツヒ

イ、アイ、レキスフォード博士

ウエールス、アベリストウイズ

アーノルド、リユーケ氏

加奈陀モントリール

シヨン、リナメーカー閣下

瑞西

シヨン、リナメーカー閣下

米國ヒラテルヒヤ市

總幹事

フランク、エル、ウラオン博士

米國紐育市

ケリー、ボンナー氏

英國倫敦

總會計

アサー、エム、ハリス氏

米國紐育市

テ、アル、フエレンス閣下

國會議員英國倫敦

シヨイヤ、エチ、トラル氏(米國內補助會計)紐育市

統計幹事

ダブリエーザ、ランデイス氏
米国フィラデルヒヤ
サ、ジョン、カーク氏(セ、ビ)
英國倫敦市
ロバートカウシマン氏(米國內補助統計幹事)米國シカゴ市

實行委員

委員長 ジョン、ワナメーカ、閣下
米國ヒラデルヒヤ
▲ エチ、セ、ハインツ
米國ピッツブルガ市

副委員長

セームス、ダブリエー、キンナー
米國ピッツブルガ市
アサー、ブラツク氏
英國リバール
リチャード、バルサス氏
印度ジュアアルボール
セ、ダブリエー、ブツチキ
英國倫敦
シ、エム、キヤンベル氏
米國バサアナ
セ、アル、チタンバー教授
印度ルツクラウ

セームス、エス、クロサー氏
英國倫敦
ウイリヤム、テツカー氏
米國モントゴメリ
チャレス、ダブリエー、ドリース博士
アルセンチン、ピユノス、アイレス
ダブリエー、エ、イユダレー氏
米國オハヨ洲ミッドルタウン
イ、アル、クロツプ博士
瑞西ハルン市
イ、イ、ホール氏
米國紐育市
エミリー、ハントレー氏
英國倫敦
アルチバル、ヤクソン氏
濠洲メルボルン
フランク、ジョンソン氏
英國倫敦
エム、エチ、ジョンズ氏
英國ウエルス
ビ、テ、コツホ博士
丁抹コハンハーゲン
マリオン、ローレンス氏
米國市俄古市
ナン、ラロツホ牧師
佛國巴里
セス、ビ、リート閣下
加奈陀モントリール
セ、ザ、レーマン氏
獨逸カツメル

- セ、エル、マクローリン氏
 - ゼ、ビ、マクノートン博士
 - ハリ、モルトン氏
 - イ、アル、ニコール氏
 - フランク、メイソン、ノルス博士
 - オール、オルセン氏
 - チ、グイヴアン、リース氏
 - シ、シ、ストール氏
 - ウ、エチ、ストツカム氏
 - バウル、スタルトバント氏
 - チ、ダブリユ、シノツト氏
 - イ、ジ、チユクスベリー氏
 - フロイド、ダブリユ、トムキンス氏
 - エチ、シ、タツカー氏
 - 輪銅猛博士
-
- フィリッピン、マニラ市
 - 土耳其バダセヤク
 - 米國オー克蘭ド
 - 英國倫敦
 - 米國紐育市
 - 那威國クリスチヤニア
 - 英國ウエールス、カルザフ
 - 米國ルイスヴァイル
 - アラバマ、バーミンガム
 - 米國紐育市
 - 米國ウエノナ
 - 上 海
 - 米國ヒラデルヒヤ
 - ブラジル國リオ、デ、ジャネロ
 - 東京市

米國代表者 (外國傳道局會議ヨリ)

- フレアリツキ、エ、ウエルス
 - フランク、ウイッドバリー博士
 - エリ、シ、ウイドラフ氏
 - エス、エム、ツイーマー博士
 - 及ビ會長、前會長、現副會長、幹事、會計
 - ダブリユ、ビ、アングソン博士
 - エ、イ、アムストロング氏
 - エノツク、エフ、ベル氏
 - ヘレン、カーダー氏
 - アル、エ、ドン氏
 - 監督 エ、チ、ホワード氏
 - ダブリユ、イ、ランム氏
 - イ、エチ、ローリングス博士
 - チ、ビ、レー博士
-
- 米國シカゴ市
 - ノバスコシア、ハリファツカス
 - 米國アリツゲホルト
 - 埃及カイロ
 - ヒラデルヒヤ市
 - 加奈陀トロント市
 - ホストン市
 - ホストン市
 - オハヨ洲シンシナチ
 - オハヨ洲テイトン市
 - ヒラデルヒヤ市
 - テネシー洲ナスヴエリー
 - ヴァルヂニア洲リツチモンド

セ、シ、ロピンス氏

ジョーシ、エス、トラル氏

エス、アール、テローロ博士

(日曜学校会議ヨリ)

ダブリユ、エズ、ボヴアルト

ダブリユ、イ、チャマース博士

ロバート、エム、ホブキンス氏

フランク、エチ、ラングフォルト氏

シバニー、エ、ウエストン博士

(助言委員ヨリ)

ゼームス、エル、バルトン博士

ジョン、アル、モット博士

ロバート、イ、スピヤ博士

ジョン、テ、フエリス博士

ホストン市

紐育市

紐育市

シカゴ市

ヒラデルヒヤ

オハヨ洲シンシナチ

加奈陀トロント市

ホストン市

ホストン市

ホストン市

紐育市

紐育市

紐育市

ヒラデルヒヤ市

内國及び世界日曜学校協會代表者

南亞米利加 ▲ジョーシ、ビ、ホワード氏

ブラジルH曜学校協會 ハバート、エス、ハリス氏

フィリッピン ▲エ、エル、ライアン氏

回教國 スチフン、トロウブリツジ氏

メトリー、サリア、テユアリー氏

キャブテン、ジョーシ、エチ、シエラ氏

朝鮮 セ、ジ、ホルトクラフト氏

支那 イ、ジ、チユクスベリー氏

日本 ホレース、イ、コールマン氏

川澄明敏氏

印度 リチャード、バルガス氏

イ、エ、アンネツト氏

アルゲエンチン國サン、マルチン

レオ、テ、ガヤネロ

マニラ

埃及

埃及

シリア

朝鮮平壤

上海クエンサン園

東京赤坂權町

東京市

セソトラル、プロピソス、ジュバルホール

同上

本部

米國 紐育市オトロホリタン、タワニー二一六番
英國 倫敦市オールド、ベレー街五六番

講演者氏名

A部

アンダーソン氏(ワイリヤム、ビ、)
安藤太郎氏

アンネツ、氏(イ、)

アマストロング嬢(クラル)

カーノルド氏(エ、チ)

ペーチー 士(チ、ビ)

ペーチー夫人(チ、ビ)

パーバー博士(エフ、ルイス)

パインズ夫人(セ、ダブリエー)

B部

内閣又ヨ世世日曜学校協同會ヲ其著

商、オハヨ州ボーツマス、オハヨ日曜學校協會理事
會員
日本東京市

印度孟買印度宗教教育ノ宣教師

ハンシルヴァニア州パトラ市女子青年會總幹事

オハヨ州コロンパス市、オハヨ日曜學校協會幹事

ミソリ州カンサス市、長老教會牧師

カンサス市宣教師團長、聯合日曜學校校長

カナダ、トロント市、ソサエト教會牧師

ニウセルシー、ニウアーク市、萬國教科書委員、日
曜學校出版協會記者、メソサエト監督教會員、日

ピツクリー(監督シヨダ、エチ)

ピタルワルフ博士(ダブリエ、イ、)

ピツチンガー嬢(ルシー、エフ)

ブラツク氏(アサー)

ブラツクストーン氏(セ、エチ)

パウマン氏(ダブリエー、アル)

ボイド氏(ヘンリー、エ)

ブリユーメカー博士(チャレンス、ダブリエー)

ブリッセマ嬢(アルセア)

ブロッカ氏(ウ、エチ)

ブラオン嬢(マガレット、エレ)

ブラオン博士(克蘭ク、エル)

ブール嬢(エム、ビ)

ブツチャ氏(セ、ワイリヤム)

ペンシルヴァニア州、ピッツブルグ市、マレシア

群島及ネザランド、インデイスノ監督

インデアナ、モンテセロ、傳道師、アメリカ家庭講

壇聯盟長

メリーランド、ホルチモア師、長老教會婦人長老

倫敦、シヤフツベリー協會、聯合貧民學校幹事長、

世界日曜學校實行員

上海、ミルトン、スチエアート傳道基金管理者

英國スタツフォールド、地方及外國聖書會社幹事

米國テネシー、ナシユグイル市、内閣パプテスト大

會日曜學校會幹事

オハヨ州デイトン市、日曜學校理事會幹事長、基

督同胞教會

イリノイス州ペオリア市、公立圖書館演說家

マサチエセツト州アソル、出版家

ネブラスカ州リンコン市、日曜學校協會幹事

世界日曜學校總幹事

ペンシルヴァニア州イストシ、ノーサンブトン郡

日曜學校協會幹事

英國倫敦、ウエスレアン、ソサエト教會日曜學校

協會幹事世界日曜學校會員實行委員

C 部

- カラハン氏(ダブリュ、セ)
- カレンダー氏(エム、ダブリュ)
- カーター氏(ヴァン)
- チャマース博士(ダブリュ、イ)
- チャウン博士(エス、デ)
- クラーク博士(ジョセフ)
- クラーク氏(ハリエツト、ペレー)
- コガン氏(セー、エム)
- コイル氏(レランド、エチ)
- コイルマン氏(エチ、イ)
- コイルマン夫人(エチ、イ)
- カンニングハム嬢(エム)
- サイン氏(エチ)

日本字和島、宣教師

- ハンシルヴァニア州ウィルキンズブルグ、鐵道青年會、大人級教師
- レイシヤナ州ニウオレアン、日曜學校幹事
- ハンシルヴァニア州ランズダウ内國部役員
- 加奈陀トロント市、メソヂスト教會總會長
- 「チモシー、スタンドバイ」紐育州アルバニー市、日曜學校協會幹事
- 醫師、紐育アルバニー市
- オハヨ州カントン、幹事、會計、スターク材木會社
- マサチユセツト州サレム、マサチユセツト、バプチスト大會理事會長
- 日本東京市、世界日曜學校協會日本教育幹事
- 日本東京市
- 蘇國アラスゴ市、課程記者兒童分科役員
- 教授、朝鮮

D 部

- デヴィ氏(ヒ、エ)
- デヴィ ス(エフ)
- デニアロー氏(エム、エス)
- ゲツケンソン博士(アル、イ)
- ドスカー博士(エチ、イ)
- フレバー嬢(ダブリュ、エス)

日本東京市日本日曜學校協會會計

- ジョシア州アトランタ市、日曜學校協會補助會長
- 埃及カイロ市、平信徒運動幹事、米國傳道會社及W.S.S.A.埃及幹事
- コロラド州、デヴィア市牧師
- ケンタッキー州ルイスビル市ルイスヴィル長老教會神學校教會歴史教授
- 日本弘前宣教師

E 部

- 江原素六氏
- 海老名輝正博士
- エンゲル氏(セ、ユチ)
- エルドマン氏(セ、ピ)
- イブメーヤー氏(イ、エフ)
- イブメーヤー夫人(イ、エフ)
- フニリス博士(チ)

日本

- 日本同志社長
- カンサス州アピソン、カンサスS.S.A.幹事
- 布哇ホノルル、布哇傳道協會S.S.部長
- ペンシルヴァニア州イーストン、第一レフォーム教會牧師
- 同上米國レフォーム教會婦人教育、事會理事

F 部

- イラアルピヤ市福音的教派日曜學校會長、日曜學校長老出版部記者、萬國教科書委員會員、W.S.S.實行委員

G 部

フアウスト博士(エ、テ)
 フィツシヤー氏(シ、ヤ)
 フランク氏(ダブリユ、セ)
 ガンアル氏(チ)
 グードウイン(ダブリユ、エチ)
 ゴーチヤー博士(セ、エフ)
 ハミルトン監督(エチセ)
 ハルンリー博士(エチ、セ)
 ホンシンガー嬢(ダブリユ、イ)
 ハスケル氏(セ、ア)
 ホルドクラフト氏(セ、ダ)
 ホブキンス氏(アル、エム)
 ホワード氏(セ、ビ)

日本仙臺市宣教師
 桑港、北カリフォルニアS、A幹事
 オハヨ洲アグロン市、商人、洲郡委員會委員
 南亞弗利加ウイテンヘーゲ
 加奈陀モントリレル、デパートメント、トアゴ、加
 奈陀メソヂスト教會傳道局理事
 メリランド、ホルチモア市、エメリダス、ゴーチ
 ヤー大學長
 日本名古屋市、カナダ監督教會監督

H 部

カンス市マクファソン大學教頭
 紐育市メソヂスト監督教會婦人理事會員
 ネアラスカ、ウエクフィールド市、ウォルシル第一銀
 行頭取、洲理事會員
 朝鮮平壤長老教會宣教師朝鮮S、A幹事
 オハヨ洲シンシナチ市クリスチヤン教會聖書學校
 幹事、S、S實行委員
 アルセンチン國ビユノス、エレス、南米日曜學校
 派遣幹事

カンス市マクファソン大學教頭
 紐育市メソヂスト監督教會婦人理事會員
 ネアラスカ、ウエクフィールド市、ウォルシル第一銀
 行頭取、洲理事會員
 朝鮮平壤長老教會宣教師朝鮮S、A幹事
 オハヨ洲シンシナチ市クリスチヤン教會聖書學校
 幹事、S、S實行委員
 アルセンチン國ビユノス、エレス、南米日曜學校
 派遣幹事

I 部

井深梶之助博士
 アルヴィン氏(アル)

日本明治學院總理、日本日曜學校協會理事、大會副
 委員長
 暹羅米國聖協派遺幹事

J 部

シヨルダン氏(ダブリユ、イ)
 シユアン氏(エス、エム)

ヒラアルヒヤ市カルビン長老教會副牧師
 ルイシヤナ洲ニウオレアン市日曜學校協會兒童科
 長

K 部

川澄明敏氏
 クリーヴァ氏(セ、ダブリユ、イ)
 ナツブ夫人(イ、シ)
 小崎弘道氏
 クルツ博士(テ、エプスタ)

日本東京市日本日曜學校協會幹事
 カンス洲ニユトン、外國傳道會社メノナイト理
 事會實行委員長、ベセル大學前學長

L 部

ランマス監督(ダブリユ、アル)
 ランハ博士(ウエ)
 ランデス嬢(エ)

ワシントン洲スポケン、内國S、S、A兒童科長
 東京、靈南坂教會牧師、日本日曜學校協會長
 カンス洲マクファソン市、マクファソン大學長、
 前カンスS、S、A長
 カリアオルニヤ、オークテール、南メソヂスト監督
 教會外國傳道會社理事長
 フィラデルヒヤ市前日本宣教師レフオムド教會幹
 事、平信徒外國傳道幹事W、S、S、A記録係
 ヘンシルヴァニヤ洲メラウイル市洲師範學校教師
 藝酒役員

M 部

ランデス氏(ワ、ジ)
 ランゲフォールド氏(エフ、エチ)
 ローランズ氏(エム)
 ロック監督(ジ、イ)
 ロレンソ氏(ジ、エル)
 フドイロ教授(エ、アイ)
 マカルデー氏(イ、イ)
 マツゴイ氏(エフ、エム)
 マクローリ氏(セ、エム)
 マクラレン博士(セ、セ)
 マグノオ氏(シ)
 マスターズ氏(エヌ、ピ)

ヒラアルヒヤ市、ペンシルヴァニア州S、S、A 幹事、W、S、S、A、統計幹事
 加奈陀トロント市、メソヂスト教會G、S、S 幹事
 W、S、S 実行委員
 市俄古市、萬國S、S、A 總幹事W、S 実行委員、W、S、S、A 前幹事
 カリフォルニア州ロサンゼルス市、フイリッピン、メソヂスト教會監督
 印度ルツクナウ、メソヂスト監督教會、S、S 理事
 會印度派遣幹事
 朝鮮京城セウエランヌ、ユニオン醫學校外科教授
 ペンシルヴァニア州、レバノン市、辨護士レ、バノン郡S、S、A 長
 アイオア州マウント、ヴェルン市、アイオア、コーネル大學教授
 フイリッピン島マニラ市、米國聖會社幹事、フイリッピンS、S、S 幹事
 加奈陀オンタリオ州、W、S、S、A 前副會長、I、S、S、A 実行委員、萬國教科書委員
 フイリッピン島、ソヂスト牧師
 ペンシルヴァニア州ランズダウ市、メソヂスト監督教會牧師

O 部

ミルラー博士(アル、ウ)
 ミントン氏(ウ、ピ)
 ムーア氏(エ、エル)
 モルガン嬢(シ)
 ノルマン氏(ア)
 ノルドホフ嬢(セ)
 ナン 嬢(イ)
 オーバー氏(エチ、ケ)
 オルムステッド氏(ウ、ピ)
 オーエース教授(ウ、ジ)
 オニニマン氏(ジ、ウ)

フイラデルヒヤ、レフォード教會記者、S、S 理事
 命幹事
 オハヨ州アアマアンス、クリスチヤン教會外國傳道會社幹事
 ミシガン州ボンチヤック辨護士、ボンチヤック教會局長、大人聖書研究會教師
 ミソリ州カンサス市教師、初等科長
 日本長野市カナダ、メソヂスト派宣教師
 日本下關、宣教師
 カリフォルニア州サンタナ、日本宣教師
 ペンシルヴァニア州エマサベスタウン大學長
 市俄古市、自由メソヂスト教會傳道會社幹事
 ペンシルヴァニア州リユイスバルク市、バクネル大學連合郡S、S、A 長
 ペンシルヴァニア州ヒツツバルグ市、アレカニー郡S、S、A 幹事
 英國倫敦クライスト教會牧師
 ニウ、セルシー州モンタナ市、W、S、S、A 補助幹事、剩餘物部部長

P 部

プー博士(ウ、シ)
 プライス博士(エヌ)

R 部

ライズ氏(エ、テ)
 ロバートソン博士(セ、シ)
 ラッセル夫人(エム、テ)
 ライアン氏(エ、エル)
 セイド氏(アイ)
 ソーヤー嬢(エム、エ)
 セルテン氏(イ、ビ)
 セルギー監督
 滋澤栄一子爵
 ジッエレ博士(ビ、エフ)
 シムス氏(テ、ウ)
 スラツタリ嬢(エム)
 スロトン嬢(エチ、イ)

ブラジル編レオ、シヤネロ長老教會牧師

加奈陀トロント市、日曜學校理事會總幹事、カナダ長老教會青年會幹事
 アラバマ州モビル市、市俄古市ムーデー聖書學校擴張部
 フイリツビ、島マニラ市メソヂスト監督教會
 S、S 派遣員
 埃及ベニー、マザル市牧師、S、S 長
 オハヨ州オクスフォード市、ウエスタン、女子大學教頭
 ハンシルヴァニア州エリー市工業家、エリー市鋼鐵業副會頭大人科教師
 日本東京市ニコライ教會
 日本東京市大會後援會副會長
 日本同志社教授
 ノース、カロライナ州ラレー市 S、S 幹事
 マサチエセツト州マルデン市、市浦教育局員フイチバクルカ師範學校教師、著述家、講演者
 カンサス市幼稚園教師

S 部

スミス教授(エチ、エ)
 スミス夫人(エム、エ)
 ステーンズ氏(ウ、エチ)
 ステフンソン氏(エフ、シ)
 ステフンソン夫人(エフ、シ)
 ストツカム氏(ウ、エチ)
 ストツカム夫人(ウ、エチ)
 ストランカ嬢(エム、イ)
 ストレツカー嬢(シ)
 田尻稻次郎子爵
 チュクスベリー氏(イ、シ)
 トマス博士(クリフイス)
 トムソン氏(エ、エル)
 トランバル氏(シ、シ)

ボストン市ボストン大學宗教音樂教師
 大會同伴者

印度ジュバルホール、印度 S、S、U 員
 加奈陀トロント市、青年前進運動幹事 S、S 理事
 會員メソヂスト教會青年會幹事
 同上、小兒部役員
 アラバマ州バリーミントン市、工業家 S、S、A 長、萬國 S、S 實行委員 I、S、S、A 傳道部委員長
 S、S 一年級教師
 ハンシルヴァニア州ケカ市第二科教師家庭科長
 オハヨ州マリエッタ市、赤十字社幹事
 洲青年會委員
 東京市長、後援會副會長
 上海、支那 S、S、U、幹事
 加奈陀トロント市、著述家、教育家、オックスフォード大學ウィックリフ館前館長
 ミシシッピ州メリテアン市、S、S 小兒科長
 フイラテルヒヤ市、S、S、タイムス記者

T 部

U 部

内田 嘉吉氏

鶴 飼 猛氏

植村 正久氏

鶴崎 庚午郎監督

V 部

ウアン、ドリール嬢(エル)

W 部

ウォルト博士(エス、エス)

ワツ ツ氏(ジ、ウ)

ウエプスター氏(エル、シ)

ウエルチ監督(エチ)

Z 部

ゾーク博士(イ、エチ)

日本東京市

日本東京市銀座教會牧師

同上富士見町教會牧師

日本メソヂスト教會監督

和蘭ヘーグ

市俄古市、共同ルーテル教會ルーテル協睦會

實行幹事

ノースカロライナ州ダラム市、長老教會長老

S、S長

上院議員、カナダ、モントリオール市

朝鮮京城、メソヂスト監督教會日本、朝鮮監督

日本仙臺、宣教師

附録 大會讚美歌

No.5

第五 (Come, Thou almighty king)

- 一 三 よろづのもの 永久にしらす 御父よ
いまめぐみを くだしたまへ
- 二 二 ひととなりし 神の御子よ ことばの
利きつるぎを おびてきたり
- 三 三 いともつよき なぐさめぬし みたまよ
わがこゝろを をさめたまへ
- 四 四 みつにまして ひとりの神 みいつこ
みさかえとを とこしへまで
ほめたゝへて まつろはん (讚美歌三六番)

第六

(Christ for the world we sing)

一 世に主をほめ
われらは
主に世さぐ

うれひなやみ
いやしたまふ
病めるものを
主イエスは

二 世に主をほめ
われらは
主に世さぐ

おもひまどひ
すくひたまふ
さまよへるを
主イエスは

三 世に主をほめ
われらは
主に世さぐ

いますくひを
まかせまつる
うけしまゝに
主イエスに。

第七

(This is my Father's world)

一、こゝもかみの
あめつちのみうた
みくになれば

いはに樹々に
たへなるみわざぞ
そらにうみに
あらはれたる

二、こゝもかみの
とりのねはなの香
みくになれば
主をばたへ

あさひゆふひ
くさのさゝやきも
はえに榮えて
かみをかたる

三、こゝもかみの
よこしまのしばし
みくになれば
ときを得とも

主のみむねの
あめつちつひには
やゝになりて
ひとつとなら)

第八

(Day is dying in the west)

一	やみにこのよ あまつみかみの	かくるゝなべに みすがたいよゝ
二	さやけし せいなるかな あめつちの せいなれ	萬軍の主 つぐりぬしこそ
三	わが家に歸へる ひとびとをいま みまへに	をさなごのごと つどはせたまへ
四	ほしのあやなす たかきみかみの うるはし	みそらのかなた みくらゐにして
	おぼろにかすむ たえずみかほを みかみよ	わがめもはれて をがませたまへ

アーメン(讚美歌三四番)

第十

(Now the day is over)

一	ゆふひをちて ねにゆく鳥 星はさめて	そらくらく かげきえぬ 花ねむり よるはきぬ
二	神よこよひ みふところ てりかがやく	よもすがら やすませて みすがたを ゆめぢにも
三	なみにのれる みちにくれし めがすかたへ	ふなびとも たびゝとも ともなひて やすらかに
四	明くるまでは つばさをもち こゝろきよき	みつかひの おほひつゝ ものとして わがかみよ

アーメン(讚美歌四一三番)

第十一 (O word of God incarnate)

一	あめよりくだり ちゑのことばを 世の光なる	二	ひろくこの世を 主よりわれらは これやかゝやく	三	眞理のたまは ゆくさきくらく ふなちをてらす	四	あふる潮瀬の なかをことなく うきくもははれ したしくきみに よるづのくにし てらすつとめを	一	ひさとなりし ほめたへよ みふみをもて てらしたまふ てらせよとて あたへられぬ	二	こがねのはこ うちにみたり さざりこむる ともしびなり	三	かくれいはの みちびきゆく やみはきえて まみゆるまで このひかりを なさせたまへ
---	-----------------------------	---	-------------------------------	---	------------------------------	---	---	---	---	---	--------------------------------------	---	--

アーメン (讃美歌二二八番)

第十二 (Lamp our feet, whereby we truce)

一	神のみことばよ こよなきたふとさ	二	ふみまよふみちの かわけるたびぢの	三	いのちのかてなる あまつみくにへの	四	ひるはしるべする よるはかゝやける	五	主よまことのちゑ かくれしひみつを	一	さよきみふみよ 何にたとへん	二	たえぬひかり きよきながれ	三	まことのマナ よしのしをり	四	くものはしら ほのほのくも	五	わかちたまへ とかせたまへ
---	---------------------	---	----------------------	---	----------------------	---	----------------------	---	----------------------	---	-------------------	---	------------------	---	------------------	---	------------------	---	------------------

アーメン (讃美歌二二四番)

第十三 The church's one fountain

一 いともたふとき 主はあもりて
 血のあたひもて たりたて
 きよきすまひを たりたまひき
 そのいしすゑと ならばるれど
 よものくにより ともはらひとつ
 のぞみもひとつ ともをうけて
 ひとりのかみを ながみたのむ
 ひとりのかみを ながみたのむ
 数多のあらそひ みたみをさき
 よびとそしりて ながみたのむ
 かみはたえざる ながみたのむ
 なみだにかへて ながみたのむ
 よにのこるたみ ながみたのむ
 とともにまじはり ながみたのむ
 とはのやすきを ながみたのむ
 きみのさますを ながみたのむ

(讚美歌二二九番)

第十四 (Sing them over again to me)

一 いのちのみことば だへにくすし
 見えざるみかみの 旨をしめし
 つかへまつる みちをおしふ
 命のみことば だへなるかな
 命のみことば 命のみことば ぐすしきかな
 (返折) 命のみことば ぐすしきかな
 主エヌのみことば いとしたはし
 あまねくひびきて まよひなやむ
 つみびとらを あめにまねく
 うれしきおとづれ たえずきこえ
 ゆるしとやはらぎ たまふかみの
 ふかきめぐみ よにあらはる

(讚美歌二二六番)

第十五 (Break Thou the Bread of life)

- 一、いのちのかて
あたへたまへ
わがこゝろは
したひまつる
- 二、みめぐみもて
祝したまへ
つみのくさり
やすきをぞえん
- われにも
わが主よ
主をのみ
わが主よ
- われを
わが主よ
ちぎれて
わが主よ

アーメン (別所梅之助譯)

第十七 (Holy Spirit, Truth divine)

- 一、みたまよくだり
うちなるひかり
- 二、みたまよつよく
まがれるおもひ
- 三、みたまよわれを
主のますらをと
- 四、みたまよわれを
あら野のみちに
- わがめをひらき
しめさせたまへ
こゝろに燃えて
やさつくしませ
- つよくをしき
なさしめたまへ
さへたまは
いづみとうたはん

アーメン

別所梅之助譯

第十八 (How firm fountain, ye saints of the Lord)

四

主のたふとほきみことばは
ゆるぎなき道のもとの

三

主のたよるわれは安けしや
世にはまたなきみことば

二

われは汝ががみ汝がとも
な畏れそつねにまがら

一

めぐみの手つよきかひなら
なが身にそひてはなれそ

三

ゆけよためらはでゆけよ
なやみの河ふかくとも

ためらはでわたりゆかば
よるこびの岸にぞつかん

四

火はみちに燃えたつとも

わがめぐみたえすあれば

ほのほもそこなひえじな

たれ汝を鍛ふのみぞ

五

老のさかこえてはこえ

かしのゆきつもるとも

かはらぬわが愛にをり

よをやすく經よわが民

第十九

(Joy to the world, the Lord is come)

- 一 たみみなよろこべ 主はきませり
こゝろをひらきて むかへまつれ
- 二 みめぐみのひかり 世にあまねし
うみやましまぐ いざうたへよ
- 三 のろはれし地にも いばら生えず
さいはひあれよと いはひませり
- 四 たゞしきさばきを おこなひたまふ
わが主のみむねに みなしたがへ

(讚美歌五八番)

第二十

(I Think when I read that sweet story of old)

- 一 あもへばむかしエスキミ をさなごをあつめ
みもとにあそばせたまひし その時ぞこひしき
- 二 こよとのたまひしきみの みかほしたはしや
わが身も御手にいだかれて かしらなでられたや
- 三 きみはいまもみそらにて こらをめしたまふ
いでくみもとにゆかばや なつかしきみもとに
- 四 すくひの子らのすまひは みくにこそなはり
おほくのをさなごつどひて 君とともにあそぶ

(讚美歌四二〇番)

第二十一

(Tell me the stories of Jesus)

- 一 エスさまのはなし きかせて
- きかせてください わたしに
- みちばたや うみべで
- なごされた むかしを
- 二 あそびにこどもの ちかより
- 祝福しゆくふくをうけた はなしも
- やさしくて けだかい
- エスさまの おかほも

三

みあとにつきゆく
手にてに棕しょう櫚ろの葉は

こどもの

うちふり

たへた

はなしも

四

あらしにこぶねの
弟子でしたちさわげる
なみかぜを
エスさまの

たよひ

をりにも

しづめた

はなしを

アーメン

別所梅之助譯

第二十二 (There is a green hill far away)

一	みやこのそとなるは	をかのうへに
二	かみよりはなれし	かみの子等の
三	十字架のうへにて	かざりのほだし
四	かみにそむきに	かみの子のわざ
五	主のうけたまひ	みくろのやいば
六	たふかさをいかで	つみをゆるし
七	ほけがれをきよむ	主はわれらぞ
八	かへしてみくに	あいまつり
九	いざやあいの主を	みむねにそは
十	みわざをいそしみ	

(讃美歌一七三番)

第二十四 (Jesus calls us, O'er the tumult)

一	世の浪さわげど	みこゑしづかに
二	われにしたがへと	エスよびたまふ
三	むかし御弟子らは	うからをはなれ
四	すべてをうちすて	速くしたがひぬ
五	かなしみたのしみ	はたらきやすみ
六	いづれのときにも	みこゑはきこゆ
七	むなしき世のもの	はかなき富に
八	ひれふしつかへで	われにしたがへ
九	エスよ御まねきを	まろこびきゝて
十	みこゑのまに	したがはせてよ

(讃美歌二六六番)

第二十六 (All hail the power of Jesus' name!)

- 一 あまつみつかひよ エスのみ名の
- 二 ちからをあふぎて 主とあがめよ
- 三 いのちをさげし あかしびとよ
- 四 ダビデの御裔を 主とあがめよ
- 五 ヤコブのやからよ 身をそなへて
- 六 性ごせしエスを 主とあがめよ
- 七 世のつみびとらよ エスのあいと
- 八 なやみごをおもひ 主とあがめよ
- 九 よろづの族よ 御前にふし
- 十 みいつをかしこみ 主とあがめよ
- 十一 とこしへのうたに こゑをあはせ
- 十二 ちよろづのものゝ 主とあがめよ

(讃美歌九五番)

第二十八 (In the cross of Christ I glory)

- 一 うつりゆく世にも かはらでたてる
- 二 主の十字架にこそ われはほこらめ
- 三 聖書のひかりは つみをあがなふ
- 四 十字架のうへにぞ みなあつまれる
- 五 おそれとみやみに かこまるとも
- 六 十字架は平和と よろこびみたり
- 七 十字架のうへより さしくるひかり
- 八 ふむべきみちをば てらしてをしふ
- 九 わざはひさいはひ よしあしともに
- 十 たゞ十字架にこそ きよくせらるれ

(讃美歌八一番)

第二十九

(Who would not love the Bible)

111K

一 きよきみふみの
 そのみをしへの
 をしきひこの
 われらの師とし
 エスも子として
 二 みふみにあるが
 そのみすがたを
 われらの師とし
 三 かみのさかえの
 一つのよにかは
 いのちのみちを
 われらの師なり

うるはしさよ
 おもしろさよ
 よきつたへを
 かじみとなさん
 生ひたちぬと
 まことうれし
 おもひやりて
 かじみとなさん
 このみふみを
 わすらるべき
 指すみふみは
 かじみなれば

別所梅之助
アーメン

第三十五

(Jesus, lover of my soul)

一 わがたましひを
 しなみはさかま
 しづみばかりの
 二 天のみなとに
 われにはほかの
 たよるかたなき
 ゆだねまつれば
 三 つばさのかけに
 わが身は全くと
 きみはまこと
 四 われの内外を
 つかれましたまを
 きみはいのちの
 たえずわきいで
 われをうるほし
 とこしへまでも

あいするエスよ
 この身をまもり
 みちびきたまへ
 かくれがあらす
 このたましひを
 みいつくしみの
 まもりたまひね
 けがれにそめて
 めぐみにみちて
 ことごとくきよめ
 みなもとなれば
 こころにあふれ
 かわきをよめ
 やすきをたまへ
 アーメン (讃美歌二七番)

一三七

第三十九 (I love to tell the story)

一 いともかしこし

エスのめぐみ

つみにしにたる

みをもいかす

主よりたまはる

あめのかてに

うゑしこゝろも

あきたらひぬ

(返折) よにあるかぎり

きみのさかえと

いつくしみとを

かたりつたへん

二 よのたのしみは

しばしのゆめ

とはにかはらぬ

たのしみある

エスのめぐみを

うけしわれは

もれなくひとに

つげひろめなん

三 すくひのめぐみ

つぐるわれは

たのしみあふれ

うたとぞなる

ほろびをいでし

このよろこび

あまねくひとに

えさせまほし

四 たへにくすしき

主のめぐみは

よにみちわたり

あるかひなき

われをもすてす

めしたまへば

たれかもあるべき

主のすくひに

第四十二 (Savior, like a shepherd lead us)

一 かひぬしわが主よ
 わかくさののべに
 われらを主のて
 よきともはなりの
 まよはばたづねて
 われらのいのりを
 せよ
 二 つねにみちびきは
 ひきかへりませ
 うけいれたまへ
 うたひにたまはる
 すくひのめぐみ
 いのちをたまはる
 のちをたてい
 主にあたりて
 われらにみたまへ
 なさしめたまへ
 めぐみふかし
 主のめぐみあ
 みのあす

第四十三 (Nearer my God to thee)

一 主よみもとに
 のぼるみちは
 ありともなど
 主よみもとに
 二 さすらふまに
 石のうへの
 夢にもなほ
 主よみもとに
 三 主のつかひは
 かよふはしの
 ちかづかん
 十字架に
 かなしむべき
 ちかづかん
 ひはくれ
 かりねの
 天をのぞみ
 ちかづかん
 みそらに
 うへより

第四十五 (Take my life and let it be)

一 きみなるエヌよ
 わがひわがとき
 わがきみのため
 わが手はきみの
 いそしみにすみは
 つねにたよりて
 われのみしたをば
 わがくちをうたふ
 わがふるゝばかり
 こがねしろがね
 いまさらぐれば
 われのこころをま
 むねのこころをま

けがれしわれを
 わがものみなは
 わがちをなまひ
 みわがをならひ
 みのあをふみて
 主のよからしめ
 つよのぬし
 すくひのぬし
 うつはなして
 よきおとめをへ
 ちよもちかちひ
 ちよもちかちひ
 ちよもちかちひ
 みくらしめして
 しらくらしめして

(讚美歌二六三番)

まねきぬれば
 主よみもこに
 いざのぼりて
 ちかづかん

四

めさめてのち
 石をたてゝ
 まくらの
 めぐみを
 いよゝ切に
 稱へつゝぞ
 ちかづかん

五

うつしよをば
 天かける日
 はなれて
 きたらば
 いよゝちかく
 主のみかほを
 みもとにゆき
 あふぎみん

(讚美歌二四九番)

第四十六 (Up to the sweet childhood looketh)

一四四

一	いとしき子どもの ちよみむねをば やさしきころに まく我がつごめを	われをみれば をしへたまへ みちのたねを 祝したまへ
二	わがちさきむれを たのしきころを つきくる子どもを すゝみゆくねがひ	おそれさせぬ われにあたへ つまづかせず ゆるしたまへ
三	主よみひかりもて ことばをつししみ をさなごをうくる てに手をとりのつ	われをてらし わざをつとめ エスのもとに ゆかせたまへ

アーメン
別所梅之助譯

第四十七 (I would be true)

一、たのむもの、おもふものを
われすてじ、うらぎらじ
なやむものを、はげまして
いさましく、をっしからん

二、すてられし、ひとをたすけ
うけずして、よくあたへ
おごらすして、へりくだり
うちわらひてあふぎみん

アーメン
別所梅之助譯
一四五

第五十

(Faith of our fathers living still)

一、父祖の信なほ活く
みさかえきつては

責めも火もよそに
わが胸高鳴る

(をりかへし)

父祖の信をまもらん

死すともえ變へじ

(アーメン)

二 父祖の信いだきて

かみのまことのみ

よものくにたみの

さちなるをおもふ

三 父祖の信あるまゝ

ともをも、あだをも

ひとしく愛して

みあとをふむなり

別所梅之助譯

第五十一

(The son of God goes forth to War)

一 あくまのくにを

うちたひらぐる

御子のいくさの

血にそむはたに

したがひすゝむ

つはものはたれ

二 はぢをいとはす

なやみをしのび

十字架をおひて

いやいさみたち

すゝむものこそ

そのひとならめ

三 主の御いくさの

さきがけせしは

いしにてうてる

あたのためにも

みゆるしこひし

せいとなりけり

第五十二 (Finest Lord Jesus)

一 エスキミは いとうるはし
 あめつちの主なる
 かみのみこ ひとの子を
 なに、かはたごへん
 はるのあさ つゆにほふ
 はなよりうつくし
 あきのよる そらにすむ
 つきよりきよけし
 なつのゆふ ふくかせたも
 ましてすがし
 ふゆの日の しらゆきに
 すぎていさぎよし
 エスキミは いとうるはし
 あめつちの主こそ
 わがさかえ わがかわり
 わがよろこびなれ アーメン

讃美歌一〇二番
一四九

四 つぎにすゝみし 主のしとたちは
 たゞひとすぢに おほせかしこみ
 つるぎも火をも いどはざりけり
 五 すゝむがまゝに あらてくはゞり
 せとこをみなも おいもわかきも
 わきめもふらで ゆくぞをゝしき
 六 よみをくだきて みくにへすゝむ
 主のつはものゝ たふときむれに
 かみよわれらも つゞかせたまへ
 アーメン (讃美歌二七六番)

第五十四

(God's trumpet wakes)

一 つのぶえひゃきて
 いくさにしたがふ
 まことをたふとみ
 わかものふるひて
 いからすほこらず
 あかしをなすもの
 あわてずさわがず
 しづけきつはもの
 十字架をほこりて
 なやみをわらひて
 つのぶえひゃきて
 いくさにしたがふ

御旗あがれり
 つはものは誰ぞ
 たゞしくはかる
 おのれをさぐぐ
 おくにさからひ
 おのれをさぐぐ
 やぶれをしらぬ
 おのれをさぐぐ
 はぢをいとはず
 おのれをさぐぐ
 みはたあがれり
 つはものわれは

アーメン

別所梅之助譯

第五十五

(Onward Christian soldiers)

一 みよや十字の 旗たかし
 きみなるエスは さきだてり
 すゝめつはもの すゝみゆき
 あだをおそれず たゝかへよ

(返折) いさめつはもの いざいさめ
 (返) じふじのみはた さきだてり

二 エスの御旗を かゝげなば
 あだはをのゝき にげかくれ
 たゝへのごえの いきほひに
 よみのいしすゑ ゆりうごかん

第五十八

(Forward Through the ages)

一	かみにめされ 聖徒のむれ 才とつとめ あなじこゝろ	すゝみゆく 代々たえす ことなれど ひとつわざ
二	あいのみくに われらのわざ このみくにを 血をながせる	ひろまれば またひろし きたすとして ひとあまた
三	うちかつとも われひとり かみのみで かなたさして	やぶるさも わざならす みちびかれ ともにゆく

別所梅之助譯
一五三

三	エスのつはもの みたみにならひ いくさをいとみ 主のみことのり	いにしへの いとたけき もろさもに まもるべし
四	世のくにくは かみのみくには よみのちからも つよきみちかひ	ほろぶども いやさかえ きえうする かはりなし
五	きたれやきたれ うたひひびかせ よびとみつかひ エスのみさかえ	かちうたを よろこべよ もろさもに ほめたへん

讚美歌二七三番

第五十九 (Lord speak to me)

一	わがきみエスよ をしへのまいに われをたづねしに	われををしへて かたらしめてよ あいにならひて
二	やすけきみちに まどへるものを うまきみかてを	われをあゆませ みちびかせて われにたまひて
三	みちからをもて あやふきものを われをいこはせ	われをつよくし たすけしめてよ きみのなぐさめ
四	われをめぐみの つかれしものに はてはさかぞの	うつはとなして みかほをあふぎ むかへしめてよ

讚美歌一六六頁

第六十

(Hail to the Lord's anointed)

一	ちのさだめし つみとがゆるし 御代をたしく	とききたりて なほめをとき しらしたまふ
二	みまつりごとに よろこびのはな 平和のながれ	地はうるほひ さきにほひて すくひのみづ
三	もろくのきみ たからこがねを よびといのりを	みまへにふし みつぎとなし 日々さぐる

わが主の御代ぞ
とこしへなる

(讚美歌七一番)

第六十一頁 (God the All-merciful)

- 一 かみの慈悲よそになして
みむねをもあなどれど
みいかりをくだしませす
やすきをたまへ、主よ
- 二 かみの義をなみすとも
みことばはゆるぎなく
みもとにはつみありえじ
やすきをたまへ、主よ
- 三 かみの火にきよめられて
この世の悪うせゆき
あまつくにはとくきたらん
やすきをたまへ、主よ
- 四 よろこびにみちあふれて
みすくひをほめたへん
うたへや、幸はくにと
あまつさかえ、主にと アーメン

(別所梅之助譯)

第六十三

(Work for the night is Coming)

- 一 つとめいそしめ
きらめくつゆの
ときすぎやすく
あさひてるまに
- 二 つとめいそしめ
わたるひかげの
いそぐ日脚は
まひるのうちに
- 三 つとめいそしめ
すいしき風の
わざやむる夜の
ゆふひさすまに

(讚美歌二六四番)

第六十四

(Rescue the Perishing, dare for the dying)

- 一 つみの淵におちいりて しづみゆくひとくに
すくひの舟こぎよせよ あめの日もかせの夜も
折) ひとりだにも ほろぶるは
- (返) みむねならじ たすけよ
- 二 そむきさりし子をしのび 夜もいねぬ母のごと
父のかみはまちたまふ たゞ悔いてかへれよと
- 三 なやむものゝなみだより なほふかきなげきをば
わが主エスはなしたまふ つたへすやこのみむね
- 四 なさけしらぬ罪人の こゝろにもやどるなり
母のおもわ神のあい こゝにこそすくひあれ

(讚美歌一八三番)

第六十六

(Where cross the crowded ways of life)

- 一 世を^よ経るみちにも われはとちごりて
- あらしそへるなかに 主の^いこゑのきこゆ
- 二 まづしくとぼしく いざなひのひそむ
- くらきこみちにも 主の^いなみだのみゆ
- 三 をのこのなやみも をみなのうれひも
- わが主は^いひとしく かへりみたまへり
- 四 あいよりあたふる 一杯の^ひみづも
- わが主の^いおもかげ さやかにやどせり

五 主よ、やまをくだり

また街にたちて

やすみえぬ群に

なぐさめをたまへ

六 愛にいくるひと

みあとをたどれば

かみのみやこゝそ

あめよりくだらめ

アーメン

(別所梅之助譯)

第六十九 (Rise up, O men of God)

一 かみのひとよ

ふるひたちて

ちからもこゝろも

主にさゝげよ

二 かみのひとよ

やみをはらひ

みくにのあしたを

よびさませよ

三 かみのひとよ

汝をまてる

ともをばたすけて

わざなさせよ

四 十字架さゝげ

みあとたどれ

ひとの子のともよ

かみのひとよ

アーメン

(別所梅之助譯)

注意 三節の三行「さもなばたすけて」は語にきまつかへなくば「けふくわいたすけて」としてもよし、「エクレシヤたすけ」としてもよし、エクレシヤといふ語を入るゝはよきかともおもふ。

第七十一

(Love divine, all love exceeding)

- 一 あめなるよろこび
たづさへくだれる
すくひのめぐみを
いやしきこの身に
- 二 いのちをあたふる
われらのこゝろを
みつかひのごとく
いのりをたませず
- 三 われらをあらたに
さかえにさかえを
みくににのぼりて
みかたちのごとく
- こよなきあいを
わがきみエスよ
あらはにしめし
やどりたまひね
- 主よとゞまりて
とこみやとなし
たゞへのうたと
さゞげしめてよ
- つくりきよめて
いやましくはへ
みまへにふす日
ならしめたまへ

(讚美歌二九四番)

第七十二

(Lord, while for all mankind we pray)

- 一 よろづのくにに
日ごとにわれらは
- 二 されどもことわけ
われらがあいする
- 三 そとにはあだなく
みやこひななべて
- 四 かみさまこととの
みこころのごとく
- 五 とはにわがくにの
かはらぬみてもて
- やすくあれと
神にいのを
- 祝したまへ
うましくにを
- うちはやすく
とませたまへ
- ちるにみたせ
ならせたまへ
- 神となりて
まもりたまへ

(讚美歌三七一番)

第七十三 (Hail the glorious, Golden City)

一 ふりにしつたへの
みひかり絶えせぬ
たゞしきものののみ
あしきは境の
二 繪のごと妙なる
よろこびいそしむ
いしがきをきづく
たかきもひくきも
三 きすつきなみだし
たてにしわざこそ
正義の御代まで
ひかりのみやこの
こがねのみやこ
くしきみささば
そこにすませて
かなたにおはる
みやこを建てんと
われらのいのち
みかみのわざに
ひさしく召さる
あやまちもだえ
くちすほろびす
かゝやきわたり
さかえにうつらん

別所梅之助譯
アーメン

第七十五 (Fling out the banner)

一 はたたくあげよ
わが主のさかえの
二 はたたくあげよ
やみよりめさめて
三 はたたくあげよ
みちからおぼえて
四 はたたくあげよ
さかえとのぞみの
うみにもやまにも
十字架のみはたを
よものくにびさも
みひかりをあふがん
つみになやむもの
つきぬいのちをえん
うみにもやまにも
十字架のみはたを

別所梅之助譯
アーメン

第七十六

(Salute the banner of the sun)

- 一 義の日はのぼりて
平和のはたかせ
 - 二 常世にかゝやく
なびけばまことの
 - 三 よこしまは去りて
不二の根ひとをば
 - 四 よものくにびとを
みちにひるがへれ
- 日のみはたたかく
みむねにのどけし
 - ひかりのみはたの
みくにもあらはる
 - 日の御旗は立ち
みそらへとまねく
 - はらからとすなる
あさひのみはたよ

別所梅之助譯

第七十七

(O Zion, haste, Thy mission fulfilling)

- 一 シオンよ世にとくつたへよ
よるのやみにたましひの
 - 二 つみの檻につながれて
かはりたるもしらである
 - 三 汝がとみをいな汝が子を
いのりに身をばゆだねよ
- 折) よろこびのあとづれ
(返) よにとくのべよつたへよ
 - 主はひとのひかりとて
ほろぶるをかなしむと
 - すくひぬしのため
くにびとをおもはずや
 - みちのためにさげよ
エスはかへりみたまはん

アーメン

別所梅之助譯

第七十八 (Jesus shall reign where the sun)

一 日のてるかぎりは 主のみくにとなり
 しろしめす御代は とこしへにさかえん
 二 おほみ名によりて さぐるいのりは
 ひきもののごとく かをりてぞのぼらん
 三 もろびとはエスに ほめうたをうたひ
 をさなごもともに 御名をよびたたへん
 四 ひとりこはゆるされ まづしきはごみて
 めぐみのたまもの あまねくぞくだらん
 五 よろづのものみな わが主をあがめて
 みつかひのうたを よもにひっかせよ

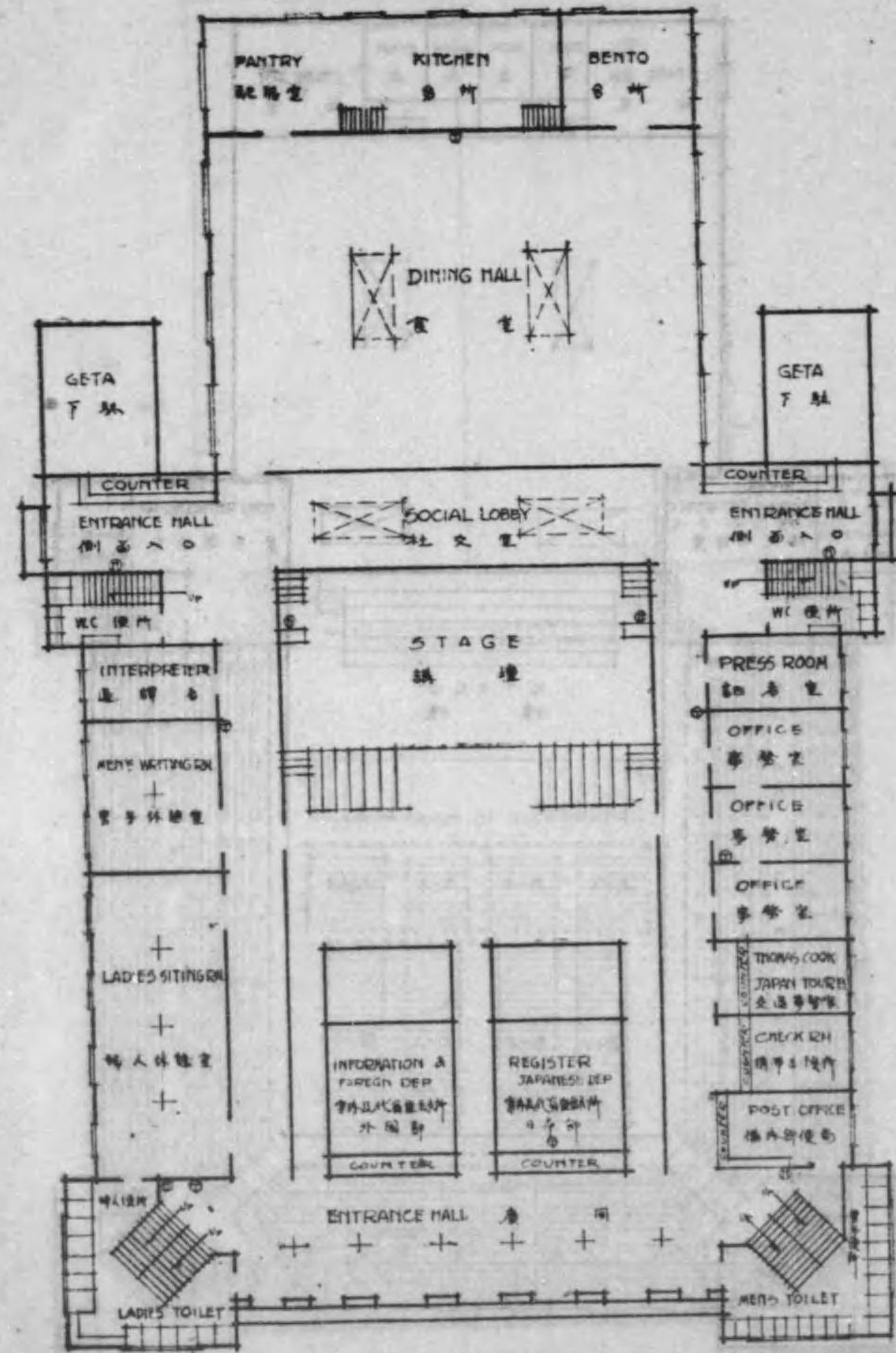
(讚美歌一五四番)

第八十一 (My country, tis of thee)

一 われは歌ふ 遠つ祖の 自由のさと 誇りのくに わが國
 二 われ 愛す 山も川も 自由のくに 森も岡も ふる郷
 三 風も樹々も 息あるもの 自由のうた ひとてふ人 うたへや
 四 われは稱ふ 自由の基 榮あるくに わか神
 みちからもて まもりたまへ とこよに

別所梅之助譯

(一其)圖縮內案場大會大



GROUND FLOOR PLAN 壹階平面

▶ 號 番 話 電 ◀

神田 二二五番 同 上	神田 二三二一 番 青年會館內事務室用	本局 一〇四番 新聞記者用	本局 一〇二番 食堂用	本局 一〇一 番 代 員 用	本局 三 番 外 人 案 內 部	本局 二 番 邦 人 案 內 部	本局 一 番 事 務 所
----------------------	------------------------------	---------------------	-------------------	-------------------------------	---------------------------------------	---------------------------------------	-----------------------------

大正九年十月五日印刷納本

(非賣品)

發行所

東京神田區美土代町青年會館內
日本日曜學校協會

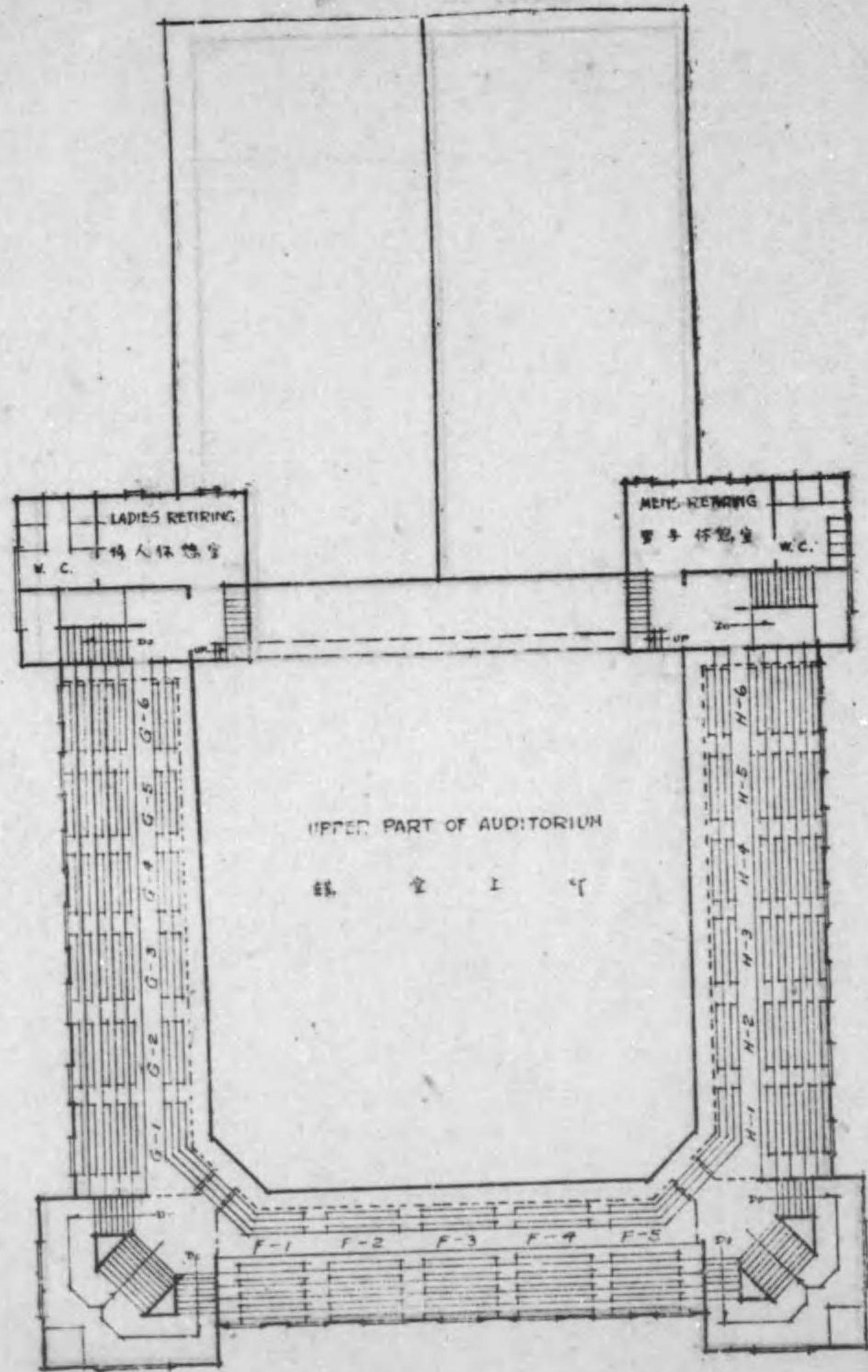
編輯人 川澄明敏

印刷人 澤田文雄

府下西巢鴨町庚申塚一二六

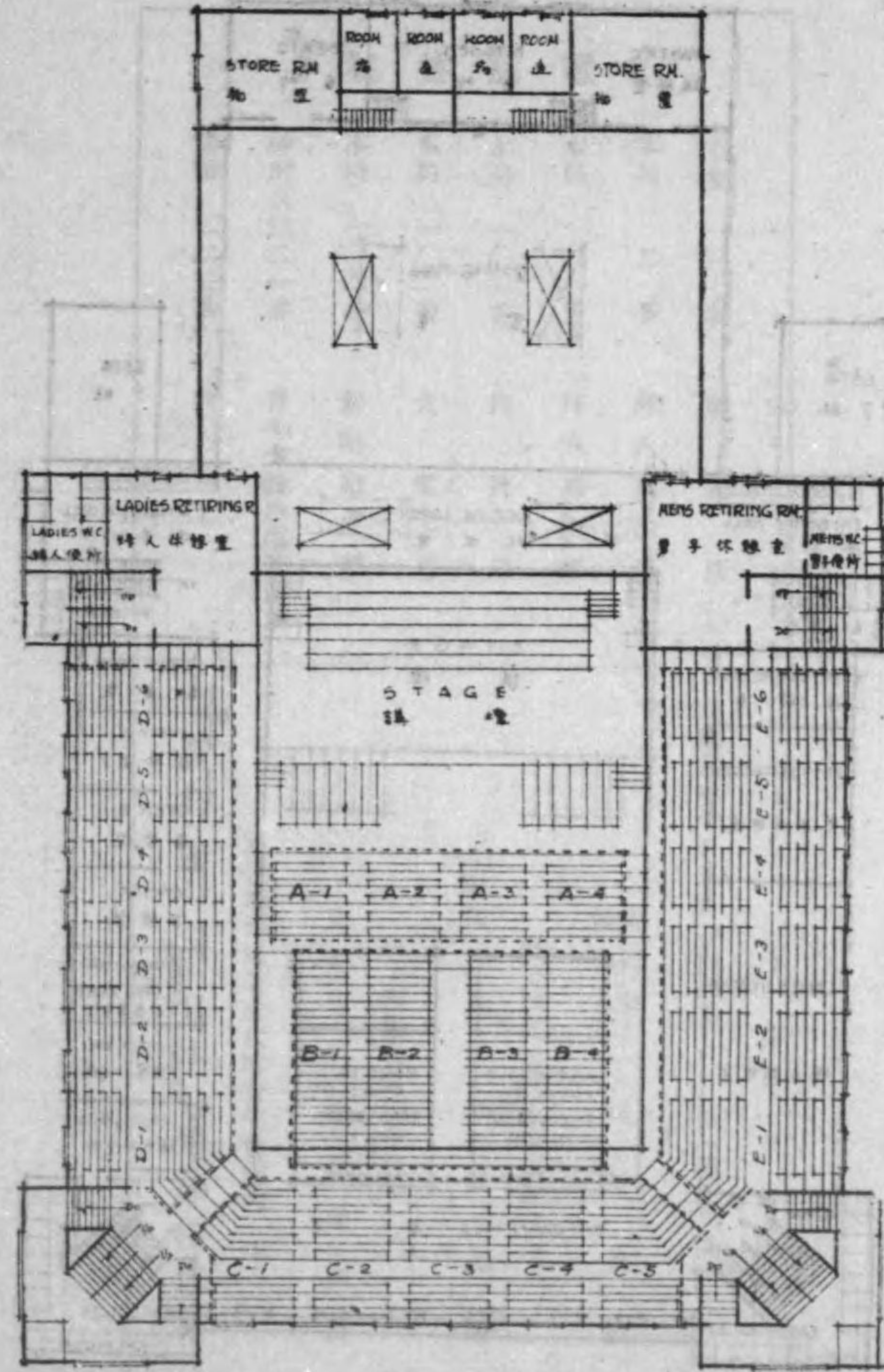
印刷所 學園印刷所

(三其) 上 同



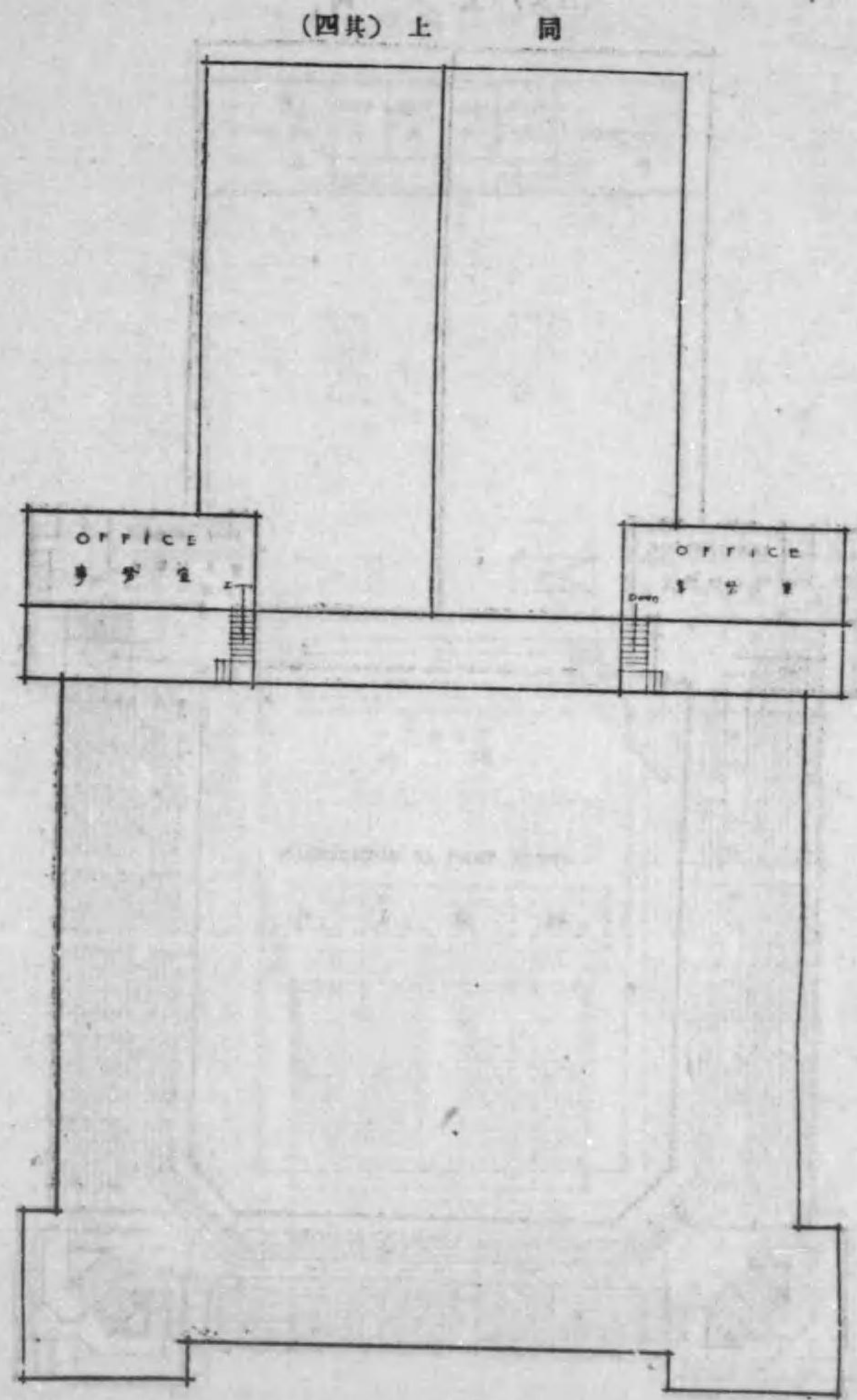
SEC-ND GALLERY PLAN 二樓平面

大(二其)主門廳同(其一)



MAIN FLOOR PLAN & FIRST GALLERY 主門廳及一樓平面

324
628



FORTH FLOOR PLAN 四樓平面

終

